

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 22日

住 所 埼玉県越谷市大字下間久里514番地

県内企業等の名称 富士興業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 高橋 正之

富士興業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

富士興業株式会社の経営理念は「顧客ニーズに応え、より良い商品(工事)を納めることによって社会的信頼を獲得し、社業の発展と地域社会に貢献します。」「環境側面においては法令遵守はもとより、負荷の低減を図るために省エネルギー、資源の有効利用などにおいて継続的改善に努める。」としております。上記を事業活動のなかで展開していくことによって持続可能な開発目標、SDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷低減のためCo2排出量を削減する。電力、燃料、廃棄物削減等の具体的指針はエコアクション21の活動計画、目標に準じて取り組む。 <(現状値)2022年の数値> Co2排出量:97,261kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3%削減
社会	社会貢献活動として、積極的に「川の国応援団 美化活動」と「埼玉県ロードサポート」を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①川の国応援団:1回/年(延べ5人) ②埼玉県ロードサポート:2回/年(延べ5人)	<2030年に向けた指標> ①1回/年(延べ10人) ②2回/年(延べ10人) <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年(延べ8人) ②2回/年(延べ8人)
経済	ワークライフバランス向上の一環として有給休暇の取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:8.5日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 22日
住 所 上尾市谷津2-1-50-29
県内企業等の名称 株式会社レーベンハウス
代表者役職 氏名 代表取締役 北西 功

株式会社レーベンハウス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、“誠実”“迅速”を信条に、地域の豊かな生活づくりの応援したいという姿勢に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。これは、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組んでいきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点より、社用車を環境配慮型車両に入れ替える。 〈(現状値)2022年の数値〉 ①環境配慮型車両割合:27%(5台/18台) ②平均燃費:17.65km/l	<2030年に向けた指標> ①72%(13台/18台) ②22km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(9台/18台) ②20km/l
社会	地域社会の貢献として、地元開催のイベントや環境保護活動等に寄付を行う。 〈(現状値)2022年の数値〉 ①上尾イルミネーション :1万円/年 ②さいたま緑のトラスト基金 :1万円/年 ③氷川鉾神社寄付金 :15万円/年 ④あげお花火大会 :0円(未開催の為)	<2030年に向けた指標> ①~④合計 51万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①~④合計 34万円/年
経済	女性活躍の推進として、女性従業員が長期的に働きやすい職場環境を提供する。その結果、女性の管理職を増やし、人材の定着化・経営の安定化を図る。 〈(現状値)2022年の数値〉 女性管理職人数:5人/14人	<2030年に向けた指標> 10人/20人 <取組開始3年後に向けた指標> 7人/16人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 22日
住 所 春日部市備後西三丁目5番40号
県内企業等の名称 株式会社千葉工業
代表者役職 氏名 代表取締役 千葉哲也

株式会社千葉工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「信用第一」に基づき行動し、すべての従業員がものづくりに「謙虚に、素直に」向き合い、「品質へのこだわりをもって、当社への信頼を不動のものとする」を品質方針に掲げ、伝統と実績を礎に、不具合の未然防止を図るとともに、お客さまの要求品質に応えることで、最良の「ものづくり」に取り組んでいる。地域社会の発展に貢献するために社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、社用車のCO2排出量を削減するため、環境配慮型車両に切り替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両台数:2/18台 ②平均燃費:16km/L	<2030年に向けた指標> ①6/18台 ②平均燃費:25km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①3/18台 ②平均燃費:20km/L
社会	社会貢献活動の推進として、ロードサポート活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート活動:0回/年 延べ0人	<2030年に向けた指標> 4回/年 延べ20人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 延べ10人
経済	地域活性化の為、地域事業者・顧客との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者・顧客との取引件数:20件/年	<2030年に向けた指標> 40件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 30件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 22日
住 所 吉川市道庭1-11-3
県内企業等の名称 有限会社ボーダック
代表者役職 氏名 取締役 太田 宝得

有限会社ボーダック はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「ゼロから1を作るものづくり企業」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減の為、社有車に環境配慮型車両を導入する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両率:20%(1台/5台) ②平均燃費:14km/L	<2030年に向けた指標> ①80%(4台/5台) ②18km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①40%(2台/5台) ②15km/L
社会	地域貢献活動として「吉川市民 まつり」「吉川市産業フェア」などのイベントに参加・協力する。 <(現状値)2022年の数値> ①参加・協力数:0回/年(延べ0人) ②寄付金:0円/年	<2030年に向けた指標> ①3回/年(延べ3人) ②30,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年(延べ1人) ②10,000円/年
経済	より働きやすい職場環境を構築するため、時間外労働を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:40時間/月	<2030年に向けた指標> 20時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 30時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 23日
住 所 埼玉県入間郡毛呂山町西戸895
県内企業等の名称 浅見興業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 浅見 清

浅見興業株式会社
はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちは環境保全や地域社会の発展のため従業員一人一人が目標を持ち事業活動を行う。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	・DX化などによるペーパーレスの推進を図る。 ・照明をLEDに変換するなど、電力使用量の削減を推進する。 ＜(現状値)2022年実績＞ ①年間コピー用紙使用量 21,000枚 ②電力使用量19,122kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 ①20%削減 ②10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 ①10%削減 ②5%削減
社会	ロードサポート活動や川の国応援団などの社員参加型の社会貢献活動を推進する ＜(現状値)2022年実績＞ 活動回数:3回/年 のべ15人参加	＜2030年に向けた指標＞ 6回/年 のべ30人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 5回/年 のべ25人参加
経済	多様な働き方の促進や、ワークライフバランス推進に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①65歳以上の従業員の雇用人数:3人(25人中3人) ②有給休暇平均取得日数:6日/年	＜2030年に向けた指標＞ ①7人 ②12日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①5人 ②10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 23日
住 所 戸田市笹目6-24-6
県内企業等の名称 株式会社すずらん
代表者役職 氏名 代表取締役 平出 智明

株式会社すずらん はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「社会貢献、地域貢献、事業を通じて幸せが届けられる、恩返しをする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①エネルギー使用量:100,000kw/年 ②再生可能エネルギー利用率:10%	＜2030年に向けた指標＞ ①30%削減 ②50% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①15%削減 ②30%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 街の美化活動:3回/年・のべ30人参加	＜2030年に向けた指標＞ ①12回/年・のべ150人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①6回/年・のべ60人参加
経済	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①女性の管理職割合:20%(10人中2人) ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:10%(10人中1人)	＜2030年に向けた指標＞ ①50% ②30% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①30% ②20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 23日
住 所 川越市石原町2丁目69番地6号
県内企業等の名称 株式会社 日慶商会
代表者役職氏名 代表取締役 西村 一慶

株式会社 日慶商会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「皆に愛され社員が自慢出来る会社を実現します」に基づき行動し持続可能な開発目標(SDGs)の精神を自社の事業活動に取り入れ取り組む事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、コピー用紙の使用枚数を削減するとともに、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:70,000枚/年 ②エネルギー使用量:11,289kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②5%削減
社会	地域貢献の一環として社員参加型の美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年 のべ12人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 のべ6人参加
経済	ワークライフバランス推進のため従業員の時間外労働を削減するとともに、休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①平均時間外労働時間:30時間/月 ②有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> ①20時間 ②10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①25時間 ②7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 23日

住 所 埼玉県入間郡三芳町藤久保974-3

県内企業等の名称 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院

代表者役職氏名 理事長 中村 哲也

医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当院は専門化を進め、質が高く切れ目のない地域医療を提供しています。「安全で最適な医療を提供し愛し愛される病院として社会に貢献する」を基本理念とし、患者さまとご家族に寄り添い、安心して医療を受けていただけるよう、地域住民の皆さまとの密着した医療を心がけています。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	照明のLED化などによって、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:3,461,372kw/年 ②LED化率:19% ③ガス使用量:62,145㎡/年	<2030年に向けた指標> ①1.5~2%削減②75%③1.5~2%削減(①③は2022年比) <取組開始3年後に向けた指標> ①1%削減 ②50% ③1%削減(①③は2022年比)
社会	地域の子供たち向けに就業体験授業の実施や職員参加型の地域の美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①就業体験授業:1回/年 のべ2名参加 ②地域美化活動:1回/年 のべ10名参加	<2030年に向けた指標> ①5回/年 のべ10人参加 ②3回/年 のべ30人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年 のべ6人参加 ②2回/年 のべ20人参加
経済	多様な働き方を推進するため、65歳以上の高齢者を積極的に雇用する。 <(現状値)2022年の数値> 65歳以上の雇用者数:37人(648人中37人)	<2030年に向けた指標> 50人 <取組開始3年後に向けた指標> 45人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 8 月 24 日
住 所 さいたま市北区吉野町2-5-12
県内企業等の名称 株式会社 高橋産商
代表者役職氏名 代表取締役 高橋信参

株式会社 高橋産商 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「限りある資源を大切に、安全・安心・信頼のおける仕事を通して、広く社会に貢献する。」この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取組む事により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコドライブの徹底と、環境に配慮した車両の導入により、CO2排出量削減に取組む。 <(現状値)2022年の数値> ①平均燃費:6.9km/ℓ ②環境配慮型車両:4台(4台/65台)	<2030年に向けた指標> ①7.3km/ℓ ②8台 <取組開始3年後に向けた指標> ①7.0km/ℓ ②5台
社会	社員の健康維持増進を目的とし、平均有給休暇取得日数を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 10日 <取組開始3年後に向けた指標> 6.5日
経済	多様な働き方の改革を推進するため、障がい者、高齢者、女性の雇用を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①障害者雇用数:1人(57人中1人) ②65歳以上雇用数:21人(57人中21人) ③女性社員雇用数:10人(57人中10人)	<2030年に向けた指標> ①3人 ②28人 ③13人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人 ②22人 ③11人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 24日
住 所 埼玉県川越市笠幡2092
県内企業等の名称 鈴や紙器梱包株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 熊澤 行洋

鈴や紙器梱包株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「急速に変化する梱包のニーズを、迅速な対応とスピードと技術と誠意をもって、お客様の喜ばれる製品づくりを目指す」との経営理念に基づき、当社社員一同一丸となって仕事に励み、下記に定める取組を目標としながらSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:70,000枚/年	<2030年に向けた指標> 49,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 63,000枚/年
社会	多様な働き方推進のため、女性の雇用を促進する。また、ワークライフバランス推進のため、休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数:3人(3人/26人) ②有給休暇平均取得日数:15日	<2030年に向けた指標> ①5人 ②20日 <取組開始3年後に向けた指標> ①4人 ②18日
経済	ディーセントワーク実現のため現パート社員の正社員登用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> パートタイマーからの正社員登用数:0人/年 (パート社員数6人中0人)(正社員数20人)	<2030年に向けた指標> 4人/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2人/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 24日

住 所 川越市諏訪町16-24

県内企業等の名称 株式会社建都コーポレーション

代表者役職氏名 代表取締役 森國 丈雄

株式会社建都コーポレーション

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

不動産、建設事業の現在はスクラップビルドの風潮が強く、不動産の再生及び地域社会のニーズに応えられるように事業を行っていきます。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員一人ひとりが、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資料のDX化により紙の使用量を減らし、ペーパーレス化を促進する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:8000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%減
社会	社会貢献活動として、周辺美化活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 周辺美化活動:1回/年・延べ1人	<2030年に向けた指標> 5回/年・延べ5人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・延べ2人
経済	働きやすい環境づくりのため、社員の時間外労働時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:13時間/月	<2030年に向けた指標> 8時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 10時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 24日

住 所 飯能市坂石241-3

県内企業等の名称 株式会社金子組

代表者役職 氏名 代表取締役 金子和弘

株式会社金子組

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社金子組は「暮らしやすく住みよい地域づくり」をテーマに、地域発展と社会貢献を目指し常に新たな技術・工法を積極的に取り入れ、地元に着目した企業として共に成長を続けるため社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用量を削減し、尿素SCRシステム搭載車を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:80,127枚/年 ②尿素SCR搭載車:8%(1台/12台)	<2030年に向けた指標> ①75,000枚(2022年比7%減) ②33%(5台/15台) <取組開始3年後に向けた指標> ①78,000枚(2022年比3%減) ②23%(3台/13台)
社会	地域貢献活動として、地元の祭り等への寄付を継続する。また、市内の小学校にパンダ鉛筆の寄付を継続する。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付金額:80,000円/年 ②パンダ鉛筆の寄付数:550ダース/年	<2030年に向けた指標> ①150,000円/年 ②600ダース/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①100,000円/年 ②570ダース/年
経済	有給休暇取得を促進してより働きやすい職場環境を目指す。また、シニア活躍の実践として、高齢者雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得日数:10.7日/年 ②高齢者(65歳以上)雇用率:22.7%(5名/22名)	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②28%(7名/25名) <取組開始3年後に向けた指標> ①12日/年 ②26%(6名/23名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 28日

住 所 埼玉県所沢市西狭山ヶ丘1-235-61

県内企業等の名称 株式会社サンワライジング

代表者役職 氏名 代表取締役 黒坂元重

株式会社サンワライジング はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「共に栄える(地域・元請・下請け・社員)」との経営理念に基づき地域社会の発展に貢献する。この考え方はSDGsと同じ方向を目指すものであり、社員と経営者が各々の立場で意識を共有し、実行していく事でSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため、社用車を順次環境配慮型車両へ移行する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の割合:22%(2台/9台) ②平均燃費:13km/l	<2030年に向けた指標> ①50% ②19km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①33% ②16km/l
社会	社員参加型の、社会貢献活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:0回/年・延べ0人参加	<2030年に向けた指標> 2回/年・延べ10人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ5人参加
経済	ワークライフバランス推進のため有給休暇の取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 12日 <取組開始3年後に向けた指標> 8日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 25日
住 所 さいたま市大宮区三橋2-402
県内企業等の名称 株式会社トーニチ
代表者役職氏名 代表取締役 澤田 明

株式会社トーニチ
はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社トーニチは、「水を通して地域社会に貢献する」を企業理念とし地域社会の発展に貢献します。次世代への安心安全な持続可能な社会の実現に向けて、積極的な活動を展開していくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量を削減するため、環境配慮型車輛を導入する <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両 1台/25台(4%) ②車両運行にかかわるCO2排出量: 64.26kg	<2030年に向けた指標> ①3台/24台(12%) ②2022年比 10%減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2台/25台(8%) ②2022年比 5%減
社会	防災・減災等への支援、環境保護等に取り組んでいる自治体や団体へ寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> 「彩の国みどりの基金」などへの寄付:0円	<2030年に向けた指標> 「彩の国みどりの基金」など 5万円以上寄付 <取組開始3年後に向けた指標> 「彩の国みどりの基金」など 1万円以上寄付
経済	65歳定年後の雇用継続を促進する <(現状値)2022年の数値> 65歳以上の高齢者雇用率:7% (7名(うちパート1名含む)/94名)	<2030年に向けた指標> 11%(11名/92名) <取組開始3年後に向けた指標> 9%(9名/94名)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 25日
住 所 さいたま市岩槻区掛625-3
県内企業等の名称 有限会社光塗装工業
代表者役職 氏名 代表取締役 遊馬 久治

有限会社光塗装工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の経営理念である「職業を通じて社会貢献」を更に目指し、働き方改革を進めるとともに地域社会に様々な面からサポートできるよう社内環境を整えていく。品質管理、安全管理はもとより環境に配慮した使用材を用いることにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	溶剤形塗料からの揮発性有機化合物(VOC)排出を削減するため、塗料水系化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①塗料水系化:50% ②シンナー使用数量:480L/年(16L×30缶)	<2030年に向けた指標> ①80% ②96L/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②336L/年
社会	社会貢献活動として、教育機関、福祉関係施設への支援や塗装ボランティア活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①教育・福祉関係施設支援:1回/年・のべ2人 ②塗装ボランティア:2回/年・のべ6人	<2030年に向けた指標> ①3回/年・のべ5人 ②4回/年・のべ15人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年・のべ3人 ②3回/年・のべ9人
経済	働き方改革の推進のため、週休2日制を実施し、年間休日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日:100日/年	<2030年に向けた指標> 125日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 115日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 25日

住 所 越谷市瓦曽根2-6-34 RSビル2A-2

県内企業等の名称 株式会社青光舎

代表者役職氏名 代表取締役 大内 健次

株式会社青光舎

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社では光学製品・医療・理化学機器の設計・開発・製造を通し、環境に配慮した取り組みを行っております。これはSDGsと同じ方向性の活動であり、これからも継続・発展していくことでSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ゴミの削減を目的として、梱包材・緩衝材を再利用する。 <(現状値)2022年の数値> 再利用率:75%/年(7.5kg/10kg)	<2030年に向けた指標> 90%/年(9kg/10kg) <取組開始3年後に向けた指標> 80%/年(8kg/10kg)
社会	従業員のQOL向上を目指すため、残業時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:10時間/月	<2030年に向けた指標> 7時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 8時間/月
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりとして女性社員を登用する。 <(現状値)2022年の数値> 女性社員数:0人/2人	<2030年に向けた指標> 2人/4人 <取組開始3年後に向けた指標> 1人/3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 25日

住 所 さいたま市大宮区大門町2-118 大宮門街SQUARE11階

県内企業等の名称 鹿島建設株式会社関東支店

代表者役職 氏名 専務執行役員支店長 田所 武士

鹿島建設株式会社関東支店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「全社一体となって、科学的合理主義と人道主義に基づく創造的な進歩と発展を図り、社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、社会・環境問題に対応し、社会に必要とされ、持続的に成長できる企業グループを目指している。
社会とともに持続的に成長し企業価値を向上させるために優先して取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定し、事業活動を通じた課題解決に向けた取組みにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮のため、工事中のCO2排出量の削減。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 原単位:16.0t-CO2/億円	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 40%以上削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 7%削減
社会	ダイバーシティを重視した人材育成・人材開発の一環として、女性管理職や女性技術職を増加させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①女性管理職者数:4名 ②女性技術者数:27名	＜2030年に向けた指標＞ ①20名 ②45名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①10名 ②35名
経済	環境と経済の両立のため、建築設計におけるZEB水準の実現を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ZEB建築物比率:0%(0棟/2棟)	＜2030年に向けた指標＞ 100% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 30%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 26日
住 所 吉川市小松川621-2
県内企業等の名称 株式会社日の出建設
代表者役職氏名 代表取締役 長谷川和代

株式会社日の出建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は地域密着型の総合建設業としてインフラ整備、維持管理を通して地域社会の発展に貢献してまいります。廃棄物やCO2削減を進め、社員一同が誠実に事業活動に取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	書類の電子化を進め、コピー用紙の使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:20,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 16,000枚/年 20%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 18,000枚/年 10%削減
社会	社会貢献として社員参加型の地域美化活動を推進する。(とともに吉川市社会福祉協議会への寄付活動を行う。) ＜(現状値)2022年の数値＞ ①美化活動:3回/年 のべ15人参加 ②吉川市社会福祉協議会への寄付:0円	＜2030年に向けた指標＞ ①6回/年 のべ30人参加 ②30,000円 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①4回/年 のべ20人参加 ②10,000円
経済	多様な人材が活躍する社会づくりに貢献するため、65歳以上の高齢者の雇用を推進する ＜(現状値)2022年の数値＞ 65歳以上の高齢者の雇用割合:13.3% (2人/15人)	＜2030年に向けた指標＞ 25.0%(6人/24人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 17.6%(3人/17人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 2日
住 所 さいたま市緑区三室989-21
県内企業等の名称 株式会社ライズ
代表者役職氏名 代表取締役 渡部義広

株式会社ライズ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は生活に欠かせない水のインフラ整備を、確かな仕事ぶり高い技術力で、行ない地域社会の発展と住み続けられるまちづくりに貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社有車のCO ₂ 排出量削減を推進するため、環境配慮型車両への移行を進める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①環境配慮型車両:1台/5台(20%) ②平均燃費:11km/ℓ	＜2030年に向けた指標＞ ①6台/6台(100%) ②24km/ℓ ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①4台/6台(66%) ②20km/ℓ
社会	埼玉県の地域活動団体への協賛、寄付を行なう。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①南越谷阿波踊り振興会:10万円 ②赤い羽根募金:0円	＜2030年に向けた指標＞ ①10万円 ②2万円 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①10万円 ②1万円
経済	多様な働き方推進として、年齢制限を設けない等柔軟な採用を行うとともに、65歳以上の高齢者再雇用を促進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①新規採用者数:0人(0人/5人) ②65歳以上の再雇用人数:0人(0人/5人)	＜2030年に向けた指標＞ ①3人 ②3人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①1人 ②1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 30日
住 所 埼玉県朝霞市西弁財1丁目10-9
県内企業等の名称 株式会社 匠
代表者役職氏名 代表取締役 本間雄一

株式会社 匠

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

『地域に貢献しよう、人々から感謝される仕事をしよう』を経営理念に地域やお客さまから選ばれる会社を目指してまいりました。時代の変化とライフスタイルの多様化が進む今日、保険の果たす役割がますます重要になっています。これからもお客様にとって安心・最良のサービスのご提供を通じて、持続可能な経営を目指し、地域の『安心安全なまちづくりの貢献』とSDGsを共通言語に『パートナーシップ』を推進してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温室効果ガス削減に向け、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電力使用量:3,732kwh ②自社事務所LED化:0% (2部屋23箇所中0箇所)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 70%削減 ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②80%
社会	地域との交流やパートナーシップ構築に向け、社員参加型の社会貢献活動に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①彩夏祭(朝霞市)への協賛:7万円 ②地元自治体主催の行事・セミナー等への支援:年4回	<2030年に向けた指標> ①20万円 ②年12回 <取組開始3年後に向けた指標> ①15万円 ②年6回
経済	ディーセントの実現や女性活躍に取り組むことで地域活性化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①事業所へ健康経営の取組推進(健康経営優良法人認証実績):0社 ②女性の管理職登用:1人(3人中1人)	<2030年に向けた指標> ①20社 ②2人 <取組開始3年後に向けた指標> ①5社 ②1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 8月 30日

住 所 さいたま市浦和区神明2-23-14

県内企業等の名称 株式会社ヤークス

代表者役職 氏名 代表取締役 篠崎 安宏

株式会社ヤークス

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「地域社会への貢献」の考えに基づき、環境に配慮した事業活動を一人ひとりが誠実に取り組むことでSDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化を進めることにより、コピー用紙使用枚数を削減する。 また、電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:12,000枚/年 ②電気使用量:14,000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①25%削減 ②25%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②10%削減
社会	地域貢献のため、事業所近隣地域の清掃活動を積極的に実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動:0回/年(のべ0人)	<2030年に向けた指標> 5回/年(のべ4名参加) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(のべ2名参加)
経済	ワークライフバランス向上のため、多様な働き方を推進し時間外労働を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:45時間/月	<2030年に向けた指標> 30時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 40時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 6日

住 所 川越市月吉町33番地2

県内企業等の名称 株式会社ワイエス

代表者役職 氏名 代表取締役 芳山尚史

株式会社ワイエス

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちのサービスで人の暮らしを良くしたいという想いの元、事業を通じて地域社会の活性化を目指しております。また、外国人も積極的に採用するなど、従業員一丸となって事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数削減や、こまめな節電を心掛け電気使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:15,000枚/年 ②電気使用量:4,300kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①66%削減 ②20%減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①33%削減 ②10%減
社会	特定非営利活動法人 国連UNHCR協会等に募金を行っており、今後も募金先を増やしていく。 <(現状値)2022年の数値> ①募金先:4件/年 ②募金額:20,000円/年	<2030年に向けた指標> ①10件/年 ②50,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①7件/年 ②30,000円/年
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりのため、外国人の雇用機会の推進を図る。 <(現状値)2022年の数値> 外国人雇用人数:2名/100人	<2030年に向けた指標> 5名/150名 <取組開始3年後に向けた指標> 3名/130名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月7日

住 所 埼玉県加須市北小浜587-5

県内企業等の名称 株式会社関根電気工事

代表者役職 氏名 代表取締役 関根 正樹

株式会社関根電気工事 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「当社が保有する固有の技術及び品質管理の技術を駆使して、顧客及び地域社会から満足をいただける電気設備を提供する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	照明器具をLEDにすることで電気使用量を削減し、環境の負荷を軽減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:18,324kwh/年 ②LED化率:72%(18台/25台)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 5%減 ②100%(25台/25台) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 3%減 ②80%(20台/25台)
社会	社会貢献として、社員参加型の美化活動を推進する。また小学校等への寄付支援を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①街の美化活動:2回/年・のべ4人 ②小学校等への寄付:5万円/年	<2030年に向けた指標> ①4回/年・のべ8人 ②10万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年・のべ6人 ②7.5万円/年
経済	従業員の働きがい向上として年次有給休暇取得日数の増加を図る。また地域人材の積極的雇用を行い地域経済の発展に寄与する。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得日数:10日/年 ②地域人材の雇用割合:70%(5人/7人)	<2030年に向けた指標> ①15日/年 ②80%(8人/10人) <取組開始3年後に向けた指標> ①12日/年 ②75%(6人/8人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 8 月 31 日
住 所 久喜市古久喜243
県内企業等の名称 株式会社武井組
代表者役職 氏名 代表取締役 武井達雄

株式会社武井組 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「法令遵守に基づき、最高の技術と向上心、そして誠実な心でお客様に信頼と満足の得られるサービスを提供するため、継続的な改善に取り組む」という経営理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が確実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点からペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:56,408枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 10%削減(2022年比) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 5%削減(2022年比)
社会	彩の国ロードサポート・川の国応援団といった社会貢献活動に積極的に参加する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 社会貢献活動:3回/年・延べ15名	＜2030年に向けた指標＞ 5回/年・延べ25名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 4回/年・延べ20名
経済	多様な人材が活躍できる職場作りとして、高齢者(65歳以上)雇用を積極的に進める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 高齢者(65歳以上)の雇用人数:0人/14人	＜2030年に向けた指標＞ 2人/14人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 1人/14人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 8 月 31 日
住 所 三郷市高州4-13-8
県内企業等の名称 東盛商事株式会社 三郷営業所
代表者役職 氏名 代表取締役 清水 翔介

東盛商事株式会社 三郷営業所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「確かな品質、更なる新しい価値観を実感頂けるような商品とサービスの提供を目指します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の一環として、CO2削減のため ペーパーレス化を推進しコピー用紙の使用 量を削減するとともに 電気使用量の削減 に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:50,000枚/年 ②電気使用量:7,000kwh/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②2022年比 10%削減
社会	地域社会の貢献として、周辺の環境美化活 動を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:2回/年(延べ8人)	<2030年に向けた指標> 12回/年(延べ50人) <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年(延べ16人)
経済	働きやすい環境づくりを推進するため、従 業員の年次有給休暇取得率の向上を図 る。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 1日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-263-5F

県内企業等の名称 三陽自動車株式会社埼玉事業所

代表者役職 氏名 事業所長 澁谷 宗徳

三陽自動車株式会社埼玉事業所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の運営モットーによる、「SIDE-ON YOUR HEART (いつもご利用いただくあなたの心の近くにいます)」に則り、人と人が寄り添う社会を念頭に、社会貢献の重要性を個々の社員がそれぞれ認識し自分の出来る範囲の役割を果たしていくことで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、環境配慮型車両の導入や社有車のアイドリングストップなど地球にやさしい運転に徹し燃費向上に務める。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両:0台/7台 ②平均燃費:8.2km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①6台/7台 ②10.0km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①3台/7台 ②9.0km/ℓ
社会	運行請負施設での交通安全講習の実施により地域の安全環境の維持改善に務める。 <(現状値)2022年の数値> 交通安全講習:2施設/年	<2030年に向けた指標> 10施設/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5施設/年
経済	多様な人材が活躍できる職場作りとして、事業所での外国人、女性ドライバーの雇用を増やす。 <(現状値)2022年の数値> ①外国人ドライバー:0人/119人 ②女性ドライバー:10人/119人	<2030年に向けた指標> ①4人/119人 ②15人/119人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2人/119人 ②12人/119人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 1日
住 所 さいたま市中央区鈴谷9-13-8
県内企業等の名称 株式会社大クマ工業
代表者役職氏名 代表取締役 大熊英津子

株式会社大クマ工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は長年積み重ねた確かな技術と実績により、お客様や地域から信頼され、地域社会に貢献できる企業活動を目指します。自社の強みを生かし持続可能な成長戦略を立てることにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため資料の電子化などにより、コピー用紙の使用量を削減する。またコピー用紙は森林認証紙を使用する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:36,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動の一環として、赤い羽根募金へ寄付をする。 <(現状値)2022年の数値> 赤い羽根募金寄付:0円/年	<2030年に向けた指標> 1万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5千円/年
経済	若年層の活躍の場を創成し経済発展を推進するため、若年層(30歳以下)の雇用数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 若年層(30歳以下)の雇用人数:2人/9人	<2030年に向けた指標> 6人/12人 <取組開始3年後に向けた指標> 4人/11人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 1日

住 所 入間市小谷田3-8-7

県内企業等の名称 ジグテックプレシジョン株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 平間 勝也

ジグテックプレシジョン株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「環境と社会への配慮のある企業」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、従業員一人当たりの電気使用量、およびDX化によりコピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:3,738kwh/年(一人当たり) ②コピー用紙使用量:2,155枚/年(一人当たり)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②2022年比 10%削減
社会	地域の祭りなどに寄付をし、地域社会に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 寄付金:0回/年 0円/年	<2030年に向けた指標> 1回/年 5万円 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年 2万円
経済	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職人数:3人/11人 ②高齢者(60歳以上)の人数:3人/26人	<2030年に向けた指標> ①10人 ②10人 <取組開始3年後に向けた指標> ①5人 ②5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 2 日
住 所 埼玉県本庄市諏訪町1287-1
県内企業等の名称 有限会社寿精工
代表者役職 氏名 代表取締役社長 山田久江

有限会社寿精工 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、企業理念である「時代の変化に追随し、お客様の要求を満たす、しなやかで確かなものづくりを展開する企業」をもとに、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、これからの社会の発展に貢献し、SDGsの達成に取り組めます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化等により、コピー用紙使用量を削減し、環境保護に努める。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:3,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 15%削減
社会	地域の道路を清掃し、地域住民の安心、安全に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ①地域清掃活動:0回/年・のべ0人 ②清掃エリア:0㎡	<2030年に向けた指標> ①2回/年・のべ20人 ②150㎡ <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年・のべ15人 ②100㎡
経済	高齢者の雇用を積極的に行い、高齢者の自立に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者(65歳以上)人数:1人/25人	<2030年に向けた指標> 5名 <取組開始3年後に向けた指標> 2名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 4日

住 所 埼玉県北本市北本4-258-16

県内企業等の名称 県央事業協同組合

代表者役職 氏名 代表理事 川村 真弓

県央事業協同組合

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地元建設業界の安定的な発展と所属企業の経営基盤強化を目指し、外国人技能実習制度を通じた国際貢献に努めます」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減し、環境保護に努める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ エネルギー使用量:4,763kWh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 9%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 3%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①彩の国ロードサポート:4回/年・延べ28人 ②川の国応援団美化活動:2回/年・延べ14人	＜2030年に向けた指標＞ ①9回/年・延べ108人 ②6回/年・延べ72人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①5回/年・延べ45人 ②3回/年・延べ27人
経済	外国人や女性従業員を積極的に雇用し、多様な人材の活躍できる職場を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①外国人従業員数(3人/10人) ②女性従業員数(4人/10人)	＜2030年に向けた指標＞ ①5人 ②6人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①4人 ②5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 4日

住 所 さいたま市岩槻区裏慈恩寺230-4

県内企業等の名称 株式会社 総美

代表者役職 氏名 代表取締役 小川 喜功

株式会社 総美

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「環境保護活動・CO2排出量の削減」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、社用車を環境配慮型車両に入替を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両:3台導入(3台/19台15.8%) ②平均燃費:8.0km/h	<2030年に向けた指標> ①8台 ②12.0km/h <取組開始3年後に向けた指標> ①5台 ②10.0km/h
社会	社会貢献・地域貢献の一環として、地元小中学校と連携し、子どもの豊かな学習を支援する。 <(現状値)2022年の数値> さいたま市中学生職場体験授業「未来(みらくる)ワーク体験」の受入:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ9人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ3人参加)
経済	ワークライフバランス推進の一環として、有給休暇取得日数を増加させるとともに、女性が働きやすい職場環境の構築を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①有給休暇平均取得日数:12日 ②女性雇用人数:3人(3人/12人)	<2030年に向けた指標> ①16日 ②7人 <取組開始3年後に向けた指標> ①14日 ②5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 4日

住 所 川口市大竹129-7

県内企業等の名称 株式会社サンライズ

代表者役職氏名 代表取締役 佐藤 圭二

株式会社サンライズ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「一人一人が思いやりを持って行動し豊かな町作り」に基づき行動し社会に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向で目指すものであり、社員全員で誠実に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペットボトルの削減のため水筒(マイボトル)利用を推進する。また節電や空調の温度調整管理を行うことにより、電気使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①ペットボトル廃棄量:5,000本/年 ②電気使用量:3,800kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ ①4,000本/年 ②2022年比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①4,500本/年 ②2022年比 5%削減
社会	子ども食堂の支援として、食品(お菓子)、飲み物(野菜ジュース、果実系ジュース)を提供する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 子ども食堂の支援:6回/年 6万円	＜2030年に向けた指標＞ 12回/年 12万円 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 9回/年 9万円
経済	社員の資格取得奨励と地域の新規取引先の拡大を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①有機溶剤作業主任者:1人(7人中1人) ②玉掛け、移動式クレーンの運転業務特別教育:1人(7人中1人) ③地域の新規取引先:3社/年	＜2030年に向けた指標＞ ①7人中4人 ②7人中4人 ③10社/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①7人中3人 ②7人中3人 ③5社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 4日

住 所 上尾市領家98-1

県内企業等の名称 株式会社埼玉三技協

代表者役職 氏名 代表取締役社長 後藤 和史

株式会社埼玉三技協

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、「『礼』相手を思う心を大切にする」「『信』誠意を尽くし信頼を得る」「『勇』能力を高め果敢にチャレンジする」の三つの信条を基に多くの社会インフラ整備を行ってきました。社員一丸となって持続可能な開発目標の達成に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。またCO2削減のため電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> ①コピー用紙使用枚数:80,000枚/年 ②電気使用量:24,135kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年度比 ①20%削減 ②10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年度比 ①10%削減 ②5%削減
社会	地域活性化のため、花火大会等地域のイベントに協賛する。 <(現状値)2022年度の数値> 協賛額:135,000円	<2030年に向けた指標> 協賛額:200,000円 <取組開始3年後に向けた指標> 協賛額:150,000円
経済	多様な人材が活躍できる環境を整備し、外国人雇用を積極的に推進する <(現状値)2022年度の数値> 外国人雇用数:0人(35人中0人)	<2030年に向けた指標> 3人 <取組開始3年後に向けた指標> 1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 9 月 6 日
住 所 埼玉県秩父郡小鹿野町長留815
県内企業等の名称 有限会社 長若建設
代表者役職 氏名 代表取締役 豊田明生

有限会社 長若建設 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「従業員の幸せがものづくりを通して秩父を活性化していく」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標SDGsと同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組みSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温暖化対策の一環として事業所敷地の緑化面積を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 緑化率:3.4%(10㎡/2939.78㎡)	<2030年に向けた指標> 事業所における緑化率:10% <取組開始3年後に向けた指標> 事業所における緑化率:5%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート活動:2回/年・のべ8人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年、のべ24名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年、のべ16名参加
経済	従業員の年間休日取得日数を増やし、高齢者の雇用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①平均有給休暇取得日数:5日/年 ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:20%(3人/15人)	<2030年に向けた指標> ①:10日/年 ②44%(7人/16人) <取組開始3年後に向けた指標> ①:7日/年 ②31%(5人/16人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 7日

住 所 川口市並木1丁目27番36号-105

県内企業等の名称 有限会社細井技研

代表者役職 氏名 代表取締役 細井 勝也

有限会社細井技研 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「豊かな地域生活環境の創造に貢献するために」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙類や印刷資材の消費量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用料:4000枚/年	<2030年に向けた指標> 20%削減(2022年比) <取組開始3年後に向けた指標> 5%削減(2022年比)
社会	公園または都市への植樹を目的とした寄附を行う。 <(現状値)2022年の数値> 植樹本数:1本/年 寄付金:1万円/年 (イーナパーク川口)	<2030年に向けた指標> 3本/年 3万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2本/年 2万円/年
経済	働き方改革を目指し、有給取得率の向上をする。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 9日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 7日

住 所 児玉郡上里町大字七本木1809

県内企業等の名称 株式会社 平成

代表者役職 氏名 代表取締役 大方裕史

株式会社 平成

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「建設工事を通じて地域社会への貢献、さらなる技術研鑽、循環型社会への貢献」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	廃棄物の分別を見直し、リサイクルや有価物化を推進することにより、本社における一般廃棄物の排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 廃棄物量:1,140kg/年	<2030年に向けた指標> 1,026kg/年(2022年比 10%削減) <取組開始3年後に向けた指標> 1,083kg/年(2022年比 5%削減)
社会	社会貢献活動の推進として、従業員参加型美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①ロードサポート:4回/年・のべ22人 ②川の国応援団:4回/年・のべ22人	<2030年に向けた指標> ①、②各 6回/年・のべ30人 <取組開始3年後に向けた指標> ①、②各 5回/年・のべ25人
経済	働き方改革の推進、ワークライフバランスの更なる充実に向けて、有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 9月 7日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区大成町2-277-1KCビル

県内企業等の名称 環境クリエイト株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 森 保

環境クリエイト株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は建築工事を通して人々の暮らしに大きく深くかわり、SDGsのあらゆる局面に関与しています。
また、災害時にいち早く地域貢献のために動けるよう、BCPの策定やレジリエンス認証を取得しております。
社員一人一人がSDGsを企業行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ITを導入することにより、請求書のペーパーレス化を推進し、紙の使用量削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 請求書の電子化率:0%(0件/936件)	<2030年に向けた指標> 100% <取組開始3年後に向けた指標> 85%
社会	児童虐待防止活動としてオレンジリボンの運動の一部として各現場事務所へのポスター掲示と啓発チラシとマスクを配布する。 <(現状値)2022年の数値> 啓発チラシ・マスク配布枚数:54枚/年	<2030年に向けた指標> 100枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 80枚/年
経済	ワークライフバランスの実現のため、男性の育児休暇取得率の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 0名/0名(0%)	<2030年に向けた指標> 取得率100% <取組開始3年後に向けた指標> 取得率90%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 9 月 8 日

住 所 北葛飾郡杉戸町内田3-19-15

県内企業等の名称 細井自動車株式会社

代表者役職氏名 代表取締役社長 細井 貴広

細井自動車株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

細井自動車株式会社は「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、お客様のカーライフを支える事業を通じて安心安全で持続可能な社会の実現に向け、貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮の観点からペーパーレス化や照明のLED切替など、CO2の削減に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①コピー用紙使用量:20,000枚/年 ②エネルギー使用量:182,820kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 ①30%削減 ②30%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 ①15%削減 ②15%削減
社会	社員参加型の地域美化活動を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 地域清掃:2回/年 のべ20人	＜2030年に向けた指標＞ 12回/年 のべ120人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 3回/年 のべ30人
経済	多様な働き方ができる職場の実現と、外国人の積極的な採用を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①男性の育児休暇取得割合:8%(2人/25人) ②外国人採用:2人(2人/25人)	＜2030年に向けた指標＞ ①30% ②7人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①15% ②5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 8日

住 所 川口市青木二丁目5番10号

県内企業等の名称 埼玉建興株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 武井美親

埼玉建興株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念の「お客様が満足感を持ち得る製品の実現、環境への影響の抑制及び労働災害ゼロを目指す」に基づき、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減推進のため、社用車を順次環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の導入割合:35%(5台/14台) ②平均燃費:18.5km/l	<2030年に向けた指標> ①71% ②22.5km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②20.5km/l
社会	社員参加型美化活動の実施と、学生インターンシップの受入れを推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①美化活動:0回/年・のべ0人参加 ②学生インターンシップ受入:2人/年	<2030年に向けた指標> ①4回/年・のべ20人参加 ② 4人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年・のべ10人参加 ② 3人/年
経済	女性が活躍出来る職場づくりとして、女性雇用比率の向上と女性管理職の登用を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①新規女性従業員比率:17.2%(37人/214人) ②女性管理職員数:0人(0人/78人)	<2030年に向けた指標> ①20.0% ②2人 <取組開始3年後に向けた指標> ①18.5% ②1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 9日

住 所 蓮田市井沼1099-1

県内企業等の名称 ジンテック株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 山口卓仁

ジンテック株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ジンテック株式会社は、経営理念である【一期一会・地域共生】に基づき、人との出会いに感謝をし大切にしていく。“人與人・人と資源”が分野を超えて繋がる事で人々の幸福度を上げ、地域社会の発展に貢献します。
この考え方は持続的な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	塗料の容器を再利用、梱包段ボール箱数を減らすなどして産業廃棄物を削減する。 また、DX化によりペーパーレスに取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①塗装容器・段ボール・ビニール類:1トン ②コピー用紙使用枚数 130枚/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②80枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 2%削減 ②100枚/年
社会	赤い羽根への募金を開始する。 <(現状値)2022年の数値> 募金額:0円/年	<2030年に向けた指標> 20万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5万円/年
経済	年齢や性別の制限を設けない柔軟な採用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 新規雇用者数:1人(総雇用人数3人)	<2030年に向けた指標> 5人(累計) <取組開始3年後に向けた指標> 2人(累計)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 11日
住 所 埼玉県加須市上種足1266-1
県内企業等の名称 株式会社SEENO
代表者役職 氏名 代表取締役 中山 竜介

株式会社SEENO はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「従業員全員が同じ方向に進んでいこう！」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自社倉庫に光拡散天窓(ひかり屋根)を導入し、昼間は電気を使わず太陽光のみでの作業を可能にすることで、電力使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①電力使用量:6,000kwh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 25%削減 ②10%
社会	社員参加型社会貢献活動として、事業所周辺の清掃活動を定期的実施・推進する。 <(現状値)2022年の数値> 町の美化活動:3回/年 のべ6名参加	<2030年に向けた指標> 7回/年 のべ49名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 5回/年 のべ25名参加
経済	働きがいのある職場環境、仕事に対する意欲向上・プライベート充実のため、業務効率化を推進し、社員の休日取得日数増加・時間外労働時間の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①平均有給休暇取得日数:6日/年 ②平均時間外労働時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> ①12日/年 ②10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> ①9日/年 ②15時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 11日
住 所 埼玉県春日部市大場1354-6
県内企業等の名称 株式会社光トヨー住器
代表者役職 氏名 代表取締役 一瀬直樹

株式会社光トヨー住器 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

①住生活に関わる企業として環境に配慮した住まいづくりを目指します。特に優れた環境性能と快適な住まいづくりを提供することによって、環境負担低減に努めます。更に断熱向上リフォームや高性能住宅の専門性を高め、住宅市場の活性化に貢献し、誰もが働きやすい企業を目指し事業活動を進めSDGsの達成に貢献していきます。
②開口部の専門業者として開口部の断熱化を推進し、地域の住まいの省エネルギー化を達成するべく企業活動を行い、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保全並びにCO2削減のため紙ベースの帳票類と使用電力を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:18,000枚/年 ②使用電力(事務所・作業場合算): 22,800kWh/年	<2030年に向けた指標> ①8,400枚/年 ②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①14,400枚/年 ②2022年比 8%削減
社会	社員の健康・ライフバランスの適正化のため休日数の増加と休みを取りやすい環境を整えていく。 <(現状値)2022年の数値> ①年間休日:111日 ②有給休暇平均取得数:5日	<2030年に向けた指標> ①130日 ②10日 <取組開始3年後に向けた指標> ①122日 ②7日
経済	雇用の維持並びに慢性的な働き手不足解消のため、シニア層・女性の雇用を推進していく。 <(現状値)2022年の数値> ①60歳以上の雇用者数 12.5%(16名中2名) ②女性雇用比率18.7%(16名中3名)	<2030年に向けた指標> ①37.5% ②40% <取組開始3年後に向けた指標> ①25% ②25%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 13日

住 所 埼玉県羽生市大字上新郷5567番地

県内企業等の名称 株式会社渡辺工務店

代表者役職氏名 代表取締役 渡辺 全一

株式会社渡辺工務店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「会社の発展と従業員一人ひとりの幸せの一致そして第一に顧客満足を考える信頼の得られる企業風土の構築」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組む事によりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮の観点から、照明のLED化により電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:48,000kw/年 ②LED化率:0%(0フロア/3フロア)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②70%(2フロア/3フロア) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②40%(1フロア/3フロア)
社会	社員参加による地域社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域美化活動(河川・道路2施設):2回/年・延べ20人	<2030年に向けた指標> 4回/年・延べ40人 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・延べ30人
経済	地域経済活性化に貢献するため、地域事業者(市内)との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者(市内)取引先数:17社	<2030年に向けた指標> 25社 <取組開始3年後に向けた指標> 20社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 13日

住 所 埼玉県吉川市三輪野江2393

県内企業等の名称 有限会社丸新

代表者役職 氏名 代表取締役 今野 勇

有限会社丸新

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「次世代に豊かな環境と心豊かな人を残すため、全ての事業活動を通じてステークホルダーの皆様と環境問題に対してSDGsの理念に基づいて連携協議しエコ活動に取り組んでいきます」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー効率の良いLED照明を導入し、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:91,693kwh/年 ②LED化率:(事務所)1室/3室・(工場)0基/12基	<2030年に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②事務所:3室・工場:12基 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②事務所:2室・工場:6基
社会	社員参加型の地域美化活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域美化活動の実施:2回/年(のべ16人)	<2030年に向けた指標> 12回/年(のべ150人) <取組開始3年後に向けた指標> 6回/年(のべ60人)
経済	労働生産性の向上のため、社員の有給休暇取得日数の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 26日
住 所 大里郡寄居町桜沢1756-4
県内企業等の名称 株式会社諸長 埼玉工場
代表者役職氏名 工場長 佐藤 大輔

株式会社諸長 埼玉工場 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「さまざまな人の願いをつないでゆこう。たゆまぬ研鑽で安心と安全を届けてゆこう。」に基づき行動し、企業の発展と共に地域社会へ貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	精米工程における副産物である米糠の出荷先を新規開拓し、出荷量を増やすことで食品廃棄物を削減し、廃棄物の抑制と再利用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①米糠出荷先:0件/年 ②米糠出荷量:0t/年	<2030年に向けた指標> ①10件 ②5,600t/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5件 ②2,800t/年
社会	社員参加型の地域貢献活動の実施を推進する。また、地域の学生・子供に向けた就業体験授業の実施を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①地域の清掃活動:0回/年 ・のべ0名 ②就業体験授業:0回/年	<2030年に向けた指標> ①6回/年・のべ20名参加 ②2回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年・のべ10名参加 ②1回/年
経済	備蓄米の量を拡大し、緊急災害時など食糧支援を行う準備を整える。また、社員の資格・免許取得に対する支援を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①備蓄米保管量:0t ②フォークリフト免許:0人、農産物検査員:0人	<2030年に向けた指標> ①22,000t ②フォークリフト免許:6人 農産物検査員:2人 <取組開始3年後に向けた指標> ①12,000t ②フォークリフト免許:4人 農産物検査員:1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 14日

住 所 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-661

県内企業等の名称 株式会社 小高商事 三郷事業部

代表者役職 氏名 代表取締役 小高 直子

株式会社 小高商事 三郷事業部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は地域に根づいた物流事業者として「安全の確保が使命である」と認識し、安全方針に基づき社会貢献していく。また、全ての人たちにとってより良い世界を作るため、全社員で取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境負荷の観点から、コピー用紙の削減と電力消費量の削減に取り組んでいく。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:89,500枚/年 ②電力消費量:46,961kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ① 10%削減 ② 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ① 5%削減 ② 5%削減
社会	社会貢献の観点から周辺地域の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:0回/年(延べ0人)	<2030年に向けた指標> 4回/年(延べ10名) <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年(延べ5名)
経済	多様な人材の活躍ができるよう職場環境を整え女性雇用の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員数:5人/39人中	<2030年に向けた指標> 10人 <取組開始3年後に向けた指標> 7人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 14日
住 所 埼玉県川口市並木4-3-4
県 内 企 業 等 の 名 称 有限会社三幸蓮見商店
代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 蓮見真太郎

有限会社三幸蓮見商店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「日本各地に美食共和国を設立しよう！」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化の推進やペーパーレス化の促進により、 コピー用紙使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用枚数:120,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 50%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 20%削減
社会	社会貢献活動として、「彩の国みどりの基金」へ 寄付をする。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 寄付実施:0円/年	＜2030年に向けた指標＞ 150,000円/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 100,000円/年
経済	様々な地域イベント、地域レストランとのタイ アップを通じて、地域産業発展に貢献する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①レストランタイアップ:累計1件 ②イベント参加:累計3件	＜2030年に向けた指標＞ ①累計15件 ②累計5件 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①累計10件 ②累計4件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 14日
住 所 草加市青柳3-22-4
県内企業等の名称 株式会社 北栄運輸
代表者役職 氏名 代表取締役 中村文隆

株式会社 北栄運輸 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は自社車両の整備工場、給油施設を保有し、これにより安全安心を守りながらスピーディで正確な運輸サービスを実現しており、法令を遵守し地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコ運転の心がけにより、Co2排出量削減をし、DX化などによりペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①トラック1台あたりCo2排出量:36.34 kg/年 ②コピー用紙使用量:168,500枚/年	<2030年に向けた指標> ①②2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①②2022年比 10%削減
社会	従業員の働きがい向上の一環として、年次有給休暇の取得率をアップする <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5.8日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年
経済	多様な人材の活躍できる職場づくりとして、女性や高齢者の雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性雇用者数:4名/40名 ②高齢者(65歳以上)雇用者数:2名/40名	<2030年に向けた指標> ①7名 ②5名 <取組開始3年後に向けた指標> ①5名 ②3名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 17日

住 所 加須市本町7-10

県内企業等の名称 N.douer美容室

代表者役職氏名 直井京子

N.douer美容室

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当美容室は経営理念である「新しい美の創造」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、省エネエアコンの導入、照明のLED化によりエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:97,600kwh/年 ②LED化率:0%(0個/18個)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 40%削減 ②100%(18個/18個) <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 30%削減 ②56%(10個/18個)
社会	社会貢献活動の推進として、老人ホーム等への出張美容サービスを行う。また、店舗周辺の美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①出張美容サービス:2回/年 ②美化活動:30回/年(のべ45人)	<2030年に向けた指標> ①6回/年 ②50回/年(のべ100人) <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年 ②40回/年(のべ60人)
経済	ワークライフバランスの推進として、時間外勤務を抑制し有給休暇取得の促進に努める。 <(現状値)2022年の数値> ①平均時間外労働時間:15時間/月 ②有給休暇平均取得日数:15日/年	<2030年に向けた指標> ①2時間/月 ②20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5時間/月 ②18日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 18日

住 所 所沢市北秋津120-5

県内企業等の名称 オリヤス株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 安達 裕之

オリヤス株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

食品包装資材の専門商社である当社は、環境配慮型資材や鮮度保持機能素材を用いた製品の開発や販売の推進により、環境問題やフードロス問題に貢献しているだけでなく、様々な社会貢献「子ども食堂への食品容器の寄付等」を行っております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護のため、社用車を環境配慮型車両へ入れ替え、平均燃費を改善する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両導入率:28%(10台/35台) ②平均燃費:10km/l	<2030年に向けた指標> ①60%(21台/35台) ②15km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①40%(14台/35台) ②12km/l
社会	子ども食堂や児童養護施設へ食品容器を寄付する。 <(現状値)2022年の数値> 食品容器の寄付:1,500食/年	<2030年に向けた指標> 5,000食/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3,000食/年
経済	環境配慮型資材と鮮度保持機能資材の売上構成比の増加を図る。また、正社員の有給休暇取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型資材等割合:11.60% 【775/6,665(単位:百万)】 ②有給休暇平均取得日数:7日/年	<2030年に向けた指標> ①20% ②12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②9日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 19日

住 所 日高市梅原74番地7

県内企業等の名称 潮田塗装株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 潮田真也

潮田塗装株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

塗装業・防水業の社会的責任である「顧客の資産価値の維持・向上」を実現するため、自社技術力の向上に努め、社員教育・現場管理を徹底することで、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	塗装用具を洗浄液で洗い、使い捨てないことで、プラスチック製品のリユースと、プラスチック廃材のリデュースを促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①カートリッジの購入量:300枚/年 ②プラスチック廃材:15㎡/年	<2030年に向けた指標> ①250枚/年 ②8㎡/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①270枚/年 ②10㎡/年
社会	若手社員に対し、施工管理技士や塗装技能士等の資格取得費用を支援する。 <(現状値)2022年の数値> 資格取得費用の支援:計6万円	<2030年に向けた指標> 計112万円 <取組開始3年後に向けた指標> 計12万円
経済	弊社直接請負の工事に10年間の保証書を発行し、サービスの向上と品質の保証を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 0件/年	<2030年に向けた指標> 20件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 20日

住 所 越谷市増森2605-2

県内企業等の名称 株式会社俳優座劇場

代表者役職氏名 代表取締役 藤江 修平

株式会社俳優座劇場

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「人と誠実に向き合う」「創造することへの努力を惜しまない」「仲間と共に進化することを諦めない」という会社理念を大切にし、持続可能な社会実現に向けた積極的な取組を行い、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から社用車を環境配慮型車両へ切り替えを行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①環境配慮型車両の導入割合:0%(0台/1台) ②平均燃費:10km/l	＜2030年に向けた指標＞ ①100%(2台/2台) ②平均燃費:20km/l ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①50%(1台/2台) ②平均燃費:15km/l
社会	多様な人材が活躍できる職場とするため、女性管理職者を積極的に登用する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 女性管理職者数:4人/144人	＜2030年に向けた指標＞ 女性管理職者数:8人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 女性管理職者数:6人
経済	高齢者(65歳以上)が活躍できる働きやすい職場づくりを進めて高齢者雇用を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 高齢者(65歳以上)雇用人数:6人/144人	＜2030年に向けた指標＞ 10人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 8人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 20日

住 所 さいたま市桜区下大久保新田1200番地16

県内企業等の名称 株式会社シヴィルサクラ

代表者役職氏名 代表取締役 土屋 光一

株式会社シヴィルサクラ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社では実績・技術・顧客の満足度を限りなく向上させることを念頭に日々精進し、地域の暮らし・より良い未来のために今までと変わることなく、社員一丸となって取り組んでまいります。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが役割を認識し、誠実に事業活動に取り込むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化によるペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資材の削減を推進する。照明のLED化を推進し、電力使用量の削減をはかる。 <(現状値)2022年の数値> ① コピー用紙使用枚数:20,000枚/年 ② LED化率:50%(1室/2室)	<2030年に向けた指標> ①2022年比 50%削減(電子契約書等へ切替) ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 20%削減(電子契約導入・準備) ②100%
社会	社員参加型の地域美化活動として、事業所周辺の清掃を行う。また地域イベントへの寄付の推進を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動:0回/年 ②寄付金:10,000円・1団体	<2030年に向けた指標> ①5回/年(のべ10名参加) ②5団体へ合計5万円 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年(のべ6名参加) ②3団体へ合計3万円
経済	ワークライフバランスの実現のため、従業員の年次休暇平均取得日数をアップする。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 10日 <取組開始3年後に向けた指標> 7日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月4日
住 所 埼玉県新座市東北1-3-28
県内企業等の名称 有限会社 内田園
代表者役職氏名 代表取締役 内田幸男

有限会社 内田園 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「こころ豊かな社会の創造に寄与する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、梱包資材の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 段ボール使用量:2,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 50%削減 1,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 20%削減 1,600枚/年
社会	ワークライフバランス向上の一環として、従業員の年間休日日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日日数:100日/年	<2030年に向けた指標> 120日/年(2022年比 20日増) <取組開始3年後に向けた指標> 110日/年(2022年比 10日増)
経済	持続可能な経営を実践するため、環境配慮型資材の取扱いを増やす。 <(現状値)2022年の数値> 環境配慮型資材取扱率:3%	<2030年に向けた指標> 25%(2022年比 22%増) <取組開始3年後に向けた指標> 15%(2022年比 12%増)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 4日

住 所 埼玉県川口市西川口3-29-13 奥ノ木ビル101

県内企業等の名称 杜武国際通商株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 武田裕介

杜武国際通商株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、常に「生産者とともに発展することに喜びを持ち、今までより少しでも良いものを提供すること」をモットーに全力で取り組んでいます。

この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に配慮した原材料を使用したフィルムを使用するとともに、使い捨てフィルムの使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型フィルム使用率:10% (175,000枚/1,750,000枚) ②使い捨てフィルム使用量:3,300kg/年	<2030年に向けた指標> ①30% ②2,310kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①20% ②2,640kg/年
社会	社会貢献活動として、社員参加型の地域美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動回数:0回/年 のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 6回/年 のべ30人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年 のべ2人参加
経済	多様な働き方やワークライフバランス達成のため、子育て世帯(中学生まで)を対象に短時間労働の枠を増やし、地域の方の雇用を創出する。 <(現状値)2022年の数値> 子育て世帯雇用数:0名(累計)	<2030年に向けた指標> 5名 <取組開始3年後に向けた指標> 1名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月7日
住 所 新座市大和田1-6-18
県内企業等の名称 株式会社 浅田工務店
代表者役職 氏名 代表取締役 浅田 浩司

株式会社 浅田工務店はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

建設業は、人々の暮らしに大きく関わりを担っている業界であり、環境は元よりSDGsに深く関与しています。いつも安心・安全・快適な住まいづくりを心がけています。お客様や、地域から信頼され持続可能な社会に貢献出来るように、社員一人ひとりがSDGs達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	書類をデータ化しコピー用紙を削減する。 また、空調設定温度の調整や不要な照明を消すなどして電気使用料を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用料:92,500枚/年 ②電気使用料:150,737kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②4%削減
社会	地域貢献活動として、作業場・現場周辺の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 周辺美化活動:1回/年 延べ1名	<2030年に向けた指標> 5回/年・延べ5名 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年・延べ3名
経済	技能能力開発支援として、実技講習を積極的に受講させ、国家資格の合格者を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 施工管理技士保有者:2名/5名	<2030年に向けた指標> 4名 <取組開始3年後に向けた指標> 3名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 13日

住 所 埼玉県川口市戸塚2-19-21 ロイヤルメゾンⅡ 201号

県内企業等の名称 株式会社カワハラダ

代表者役職氏名 代表取締役 川原田政教

株式会社カワハラダ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「品質の高い建物を造ること」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、産業廃棄物のリサイクル率の向上を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 産業廃棄物リサイクル率:40%(5t/12t)	＜2030年に向けた指標＞ 70% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 50%
社会	地域のイベント・周辺美化活動等地域社会貢献活動への参加を増やす。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 地域貢献活動:2回/年・のべ14人	＜2030年に向けた指標＞ 5回/年・のべ35人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 3回/年・のべ21人
経済	多様な人材が活躍できる職場作りとして、高齢者雇用率を高める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 高齢者(65歳以上)雇用人数:2人/16人	＜2030年に向けた指標＞ 4人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 22日

住 所 越谷市蒲生1丁目5番地1号

県内企業等の名称 株式会社神谷サンプラス

代表者役職 氏名 代表取締役 伊藤謙一

株式会社神谷サンプラス

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は企業理念「神谷サンプラスは、笑顔でお客様の快適生活をサポートし、地域社会に必要とされる企業を目指して、まじめで素直な社員とその家族と共に幸せになり、事業の限りない成長を実現させます。」に基づき行動し、ステークホルダーから心からの「ありがとう」をいただける仕事を社員ひとりひとりが目指すことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進しコピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:251,000枚	<2030年に向けた指標> 2022年比 6%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3%削減
社会	多様な働き方を推進するため、男性の育休取得の推進と女性管理職比率の向上を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①男性育休取得率:0%(0人/2人) ②女性管理職比率:17%(2人/12人)	<2030年に向けた指標> ①80% ②30% <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②20%
経済	働きやすい職場づくりを推進し、年次有給休暇取得日数の向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 25 日
住 所 埼玉県ふじみ野市松山1-2-5
県内企業等の名称 株式会社カントー商事
代表者役職 氏名 代表取締役 原田 里美

株式会社カントー商事 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社のミッションである「地域社会に溶け込みながらお客様の笑顔を追求し、安心と信頼を基礎に夢あふれる未来に、社員の生活を守り、且つ社会に貢献し、なくてはならない会社でありたい。」を追求することは、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、会社の全社員一丸となって真摯に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、エネルギー使用量を削減するとともに、営業活動を車から公共交通機関及び自転車に切り替える。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:7,993kwh/年 ②公共交通機関及び自転車の使用率:8%	<2030年に向けた指標> ①20%削減 ②50% <取組開始3年後に向けた指標> ①10%削減 ②25%
社会	地域の福祉施設への寄付・イベントへの協賛をし、地域の福祉と文化の発展に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 寄付・協賛金額:13万円/年(13回/年)	<2030年に向けた指標> 30万円/年(30回/年) <取組開始3年後に向けた指標> 20万円/年(20回/年)
経済	男女問わず育児休暇を取得し、ライフステージの変化に関わらず長く働ける職場環境を作る。 <(現状値)2022年の数値> 育児休暇取得率:0%(対象者なし)	<2030年に向けた指標> 30% <取組開始3年後に向けた指標> 15%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月25日
住 所 埼玉県比企郡ときがわ町田黒238
県内企業等の名称 株式会社星野建設工業
代表者役職氏名 代表取締役 星野 孝

株式会社星野建設工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客さまと環境を大切にする企業」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、電気使用量の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> 電気使用量:80,000kw/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	地域貢献の為、地域の清掃活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動の実施:1回/年・のべ2人	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ8人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ4人
経済	従業員への積極的な年次有給休暇取得を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:12日/年	<2030年に向けた指標> 5日アップ(17日/年) <取組開始3年後に向けた指標> 2日アップ(14日/年)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 25日

住 所 熊谷市本石1-63

県 内 企 業 等 の 名 称 株式会社エムエムジー経営研究所

代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 本塚 英之

株式会社エムエムジー経営研究所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様に寄り添い ニーズに応じて喜ばれ 財務基盤を強化する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献していきます。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、職員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙購入枚数:594,000枚/年	<2030年に向けた指標> 10%削減(59,400枚削減) <取組開始3年後に向けた指標> 5%削減(29,700枚削減)
社会	社会貢献活動の一環として、事業所周辺地域の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:0回/年(のべ0人参加)	<2030年に向けた指標> 3回/年(のべ60人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年(のべ10人参加)
経済	職員のQOL向上と経済成長の両立を図るため、有給休暇取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:9日/年	<2030年に向けた指標> 15日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 25日
住 所 所沢市東所沢和田2-18-25
県内企業等の名称 真成株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 田島美希

真成株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

企業理念「私たちの提供する足場が建設現場の作業を安全にそして効率よく行えるように日々努力を重ね、腕を磨き、常に前向きに挑戦し続けます。」に基づき、地域社会の更なる発展に貢献すると共に、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指し、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組み、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮のため、LED照明への変更や ペーパーレス化を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①LED照明の割合:0% (0本/7本) ②コピー用紙使用枚数:10, 000枚	<2030年に向けた指標> ①100%(7本) ②2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(3.5本) ②2022年比 5%削減
社会	地域社会に貢献するため、ごみ拾い等のボラン ティアを行う。 <(現状値)2022年の数値> ボランティア活動の実施:年1回(のべ5人参加)	<2030年に向けた指標> 年4回(のべ40人参加) <取組開始3年後に向けた指標> 年2回(のべ14人参加)
経済	多様な人材が十分に活躍できる環境の整備に 取り組み、女性の雇用を促進する <(現状値)2022年の数値> 女性の雇用人数(累計):2名(2名/12名)	<2030年に向けた指標> 6名 <取組開始3年後に向けた指標> 4名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月22日
住 所 八潮市緑町1-31-13
県内企業等の名称 有限会社斉藤重機
代表者役職 氏名 代表取締役 齋藤恵太

有限会社斉藤重機 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は安心・安全・安価の3つのポリシーのもと、課題に挑戦し、地域社会の発展に貢献しています。地域に根づく解体工事業者として、社員一人ひとりが積極的に、また誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮のため、コピー用紙の使用枚数を減らす。また節約に取組むことで電力使用量を減らす。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:60,000枚/年 ②エネルギー使用量:36,000kwh/年	<2030年に向けた指標> ①55,800枚/年 ②34,200kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①57,000枚/年 ②34,920kwh/年
社会	社会貢献活動の一環として、地元のお祭りに積極的に参加し、地域活動に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 地元祭りへの参加:1回/年・参加人数3人	<2030年に向けた指標> 3回/年・参加人数15人 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・参加人数8人
経済	早帰りweek、早帰りdayを心掛けるなどし、従業員一人辺りの月単位平均時間外労働時間を減らす。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:30時間/月	<2030年に向けた指標> 2022年比 30%削減(21時間/月) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減(27時間/月)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 26 日
住 所 埼玉県狭山市柏原3669-8
県内企業等の名称 ツクモ工学株式会社
代 表 者 氏 名 代表取締役 服部 義次

ツクモ工学株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の経営方針は「地域社会に貢献」し、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に社会との共生を目指します」としており、SDGsの目指すべきところと目的を同じくするものである。社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量削減のため、再生エネルギーの利用や照明のLED化を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①再生可能エネルギー利用率:0% ②照明のLED率:30%(3部屋/10部屋)	<2030年に向けた指標> ①50% ②100% <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②70%
社会	地域の子供たちへものづくりの体験機会を創出するため、地域中学校との連携による職業体験学習、地域高校のインターンシップ受け入れを行う。 <(現状値)2022年の数値> ①職業体験学習:のべ2人参加 ②インターン受入:のべ2人参加	<2030年に向けた指標> ①のべ5人参加 ②のべ5人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①のべ3人参加 ②のべ3人参加
経済	労働時間の短縮と自己啓発の推進を図ることにより、社員のワークライフバランス向上・スキルアップを支援する。 <(現状値)2022年の数値> ①所定労働時間:8時間 ②社員の各種セミナーへの参加:5名/20名	<2030年に向けた指標> ①7時間 ②20名/20名 <取組開始3年後に向けた指標> ①7.5時間 ②10名/20名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 9 月 26 日
住 所 ふじみ野市市鶴ヶ舞3-4-5
県 内 企 業 等 の 名 称 株式会社富士精工
代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 下司英人

株式会社富士精工 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「信頼される日本一のOEMメーカーにする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①エネルギー使用量:628,749kw/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	＜2030年に向けた指標＞ ①30%削減 ②20% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①10%削減 ②5%
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 周辺地域の美化活動:3回/週・のべ30人参加	＜2030年に向けた指標＞ 5回/週・のべ100人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 5回/週・のべ50人参加
経済	若手の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①若手の管理職:1人/6人 ②高齢者(60歳以上)の雇用人数:4人/130人	＜2030年に向けた指標＞ ①3人/6人 ②10人/142人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2人/6人 ②6人/130人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9 月 22日

住 所 川口市新堀町7-7

県内企業等の名称 株式会社ワーク・ドゥバック

代表者役職氏名 代表取締役 後藤 義一

株式会社ワーク・ドゥバック

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は社会貢献の一環として、雇用問題、資源の節約について取り組んできました。今後も就業機会確保やディセントワーク、業務上持続可能な生産を方針として掲げ、SDGsの取り組みを行っていくことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	照明設備のLED化など、消費電力の節電を行い、消費エネルギーの削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:192,548kWh/年 ②照明設備のLED化率:15%(2フロア/13フロア)	<2030年に向けた指標> ①10%削減(19,254/kWh削減) ②80% <取組開始3年後に向けた指標> ②5%削減(9,627/kWh削減) ③30%
社会	社会貢献活動の一環として、事業所周辺のゴミ拾いを実施する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施回数:1回/年(のべ10人)	<2030年に向けた指標> 5回/年(のべ75人) <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年(のべ36人)
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりのため、高齢者(70歳以上)の就業機会の確保を行う。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者従業員割合:15%(26人/170人)	<2030年に向けた指標> 26% <取組開始3年後に向けた指標> 20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月21日
住 所 新座市大和田5-7-27-5
県内企業等の名称 株式会社アイデン
代表者役職氏名 代表取締役 今井大亮

株式会社アイデン はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「電気工事を通し地域とお客様の経営活動を支援し、生活を豊かにする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境への配慮の観点から、コピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用枚数:6,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 25%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 15%削減
社会	ワークライフバランスの実現のため、従業員の年次休暇日数を向上させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年次有給休暇平均取得日数:20日	＜2030年に向けた指標＞ 30日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 25日/年
経済	地域経済活性化のため、消費材料のうち地域産の割合をアップする。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 地域産の消費材料割合:70%	＜2030年に向けた指標＞ 100% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 80%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 20日
住 所 川口市柳崎1-8-32
県内企業等の名称 株式会社川口ダィオ
代表者役職氏名 代表取締役 朝隈 三裕

株式会社 川口ダィオ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

ペーパーレス化や燃料使用量を削減することで環境に配慮する等、各種SDGsに寄与する活動について従業員一人ひとりが自分事として事業活動に取り組むことで、SDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	図面の電子化や裏紙利用により、コピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ コピー用紙使用枚数:60,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 8%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動として、小学校の社会科見学や職場体験等の学生の受け入れを行う。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 社会科見学や職場体験等の受入:実施なし	＜2030年に向けた指標＞ 年/2回 各回5名程度 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 年/1回 各回5名程度
経済	従業員の福利厚生充実のため年次有給休暇取得日数を向上させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均有給休暇取得日数:6日/年	＜2030年に向けた指標＞ 10日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 7日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月26日
住 所 さいたま市西区大字飯田新田86-1
県内企業等の名称 アサヒ住建株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 箕輪 登

アサヒ住建株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

アサヒ住建株式会社は経営理念「地元に愛される企業として、公共の福祉に貢献するため、技術力を研鑽し社員と共に成長する企業を目指します。また、常にチャレンジ精神を持って新しい時代に対応できる様に改善活動に取り組めます。」に基づき社員ひとりひとりが行動し、地域社会の発展に貢献します。また、社員一丸となって持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取り組み、埼玉県SDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化等により社内のペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用量を削減する。また、事務室の蛍光灯をLEDに変更し環境負荷の軽減を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①コピー用紙使用数:278,000枚/年 ②LED照明使用率:33%(1部屋/3部屋)	＜2030年に向けた指標＞ ①2022年比 10%削減 ②100%(3部屋/3部屋) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2022年比 5%削減 ②66%(2部屋/3部屋)
社会	社会貢献活動の一環として、美化活動を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①道路清掃活動:2回/年・延べ26人参加 ②川の国広援団美化活動:2回/年・延べ16人参加	＜2030年に向けた指標＞ ①3回/年・延べ45人参加 ②2回/年・延べ25人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2回/年・延べ30人参加 ②2回/年・延べ20人参加
経済	資格取得を奨励し、社員のスキルアップに取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 1級・2級 施工管理技士取得者:33人(延べ人数)	＜2030年に向けた指標＞ 40人(延べ人数) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 36人(延べ人数)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月26日
住 所 比企郡嵐山町大字平澤2087
県内企業等の名称 昭和機器工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 鶴田智大

昭和機器工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「1. 優秀な製品の生産 2. 独創製品の開発 3. 将来を担う人材の育成 4. 夢と希望にあふれる職場づくり」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、加工研磨剤の使用量を削減するとともに、ペーパーレス化を推進し紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> ①加工研磨剤の使用量:1.62g/個 ②用紙購入量:200,000枚/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 3%削減 ②180,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 1%削減 ②190,000枚/年
社会	社会貢献活動の一環として、工場周辺の地域清掃を実施する。 <(現状値)2022年度の数値> 地域清掃活動の実施:0回/年	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ32名 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ16名
経済	多様な働き方を推進するため、育休明け正社員の時短勤務可能期間を延ばしていく。また、女性の一般職⇒総合職へのコース変更を推進する。 <(現状値)2022年度の数値> ①時短勤務可能期間:子供が3歳到達まで ②女性のコース変更:0人	<2030年に向けた指標> ①子供が小学校3年生末まで ②4人 <取組開始3年後に向けた指標> ①子供が小学校入学前まで ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 20日

住 所 埼玉県川口市青木4-7-24

県内企業等の名称 株式会社アイシンナノテクノロジーズ

代表者役職氏名 代表取締役社長 月原 信夫

株式会社アイシンナノテクノロジーズ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ペーパーレス化や裏紙利用を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。また、社内から排出されるゴミを分別・加工し、再利用することでゴミの量の削減する。さらに取引先より依頼される廃棄物原料を粉砕加工する案件を積極的に受け入れることによって、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化や裏紙利用を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ コピー用紙使用枚数:46,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進するため、街の地域活動や慈善団体等への寄付を行う。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ ①地域活動の実施:実施なし ②ユニセフ等への寄付:実施なし	＜2030年に向けた指標＞ ①4回/年 延べ人数15人 ②20,000円/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①3回/年 延べ人数10人 ②10,000円/年
経済	ワークライフバランス実現のため、従業員の年次有給休暇取得率を向上させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均有給休暇取得日数:13日/年	＜2030年に向けた指標＞ 15日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 14日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年9月27日
住 所 埼玉県新座市新座1-2-10
県内企業等の名称 株式会社 テイエムアイ
代表者役職氏名 代表取締役社長 山田 秀

株式会社 テイエムアイ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「便利で安全、安心な商品づくりに邁進し、ユーザー様より大きな信頼を得ること」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向に目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面		指 標
環境	DX化等により、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:70,000枚/年	<2030年に向けた指標> 49,000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 56,000枚/年
社会	社会貢献活動として、会社周辺の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 周辺美化活動:2回/年 のべ12人	<2030年に向けた指標> 4回/年 のべ24人 <取組開始3年後に向けた指標> 3回/年 のべ18人
経済	地域経済の発展のため、地域の事業者との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域の事業者との取引数:1社/年	<2030年に向けた指標> 3社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 2社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月27日
住 所 埼玉県羽生市南6-11-2
県内企業等の名称 折田土建工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 林 美孝

折田土建工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「顧客満足を考え、信頼の得られる企業風土、素直な心構えと誠実さ、独自技術による企業経営」に基づき行動する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことによりSDGs達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減に貢献するためコピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙の使用量:42,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 8%削減
社会	社員参加による地域社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①彩の国ロードサポート:2回/年・延べ10人 ②川の国応援団:1回/年・延べ5人	<2030年に向けた指標> ①4回/年・延べ20人 ②3回/年・延べ15人 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/年・延べ15人 ②2回/年・延べ10人
経済	地域経済活性化に貢献するため、地域事業者との取引の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者取引先数:累計10社	<2030年に向けた指標> 2022年比 5社増 累計15社 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3社増 累計13社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 27日
住 所 埼玉県加須市南大桑3627番地
県内企業等の名称 門井建設株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 門井 正利

門井建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、企業ポリシーの「確かな技術と思いやりで人々を幸せに」に基づき、全ての皆様が”安心・安全”に暮らしていけるよう、全社一丸となって継続的に品質・環境改善に取り組みます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のためペーパーレス化、資料の電子化などにより、コピー用紙の使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:50,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 40%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 15%削減
社会	社会貢献活動の一環として、ゴミ拾いやボランティア活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> ①川の国応援:2回/年・のべ16人 ②彩の国ロードサポート:2回/年・のべ16人	<2030年に向けた指標> ①3回/年・のべ30人 ②3回/年・のべ30人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年・のべ20人 ②3回/年・のべ24人
経済	高齢者(65歳以上)雇用を積極的に進め、多様な人材が活躍できる職場作りを推進する。 <(現状値)2022年の数値> 高齢者の雇用人数:1人/16人	<2030年に向けた指標> 3人/16人 <取組開始3年後に向けた指標> 2人/16人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 9月 27日
住 所 戸田市上戸田1-1-17
県内企業等の名称 株式会社荻野建築企画
代表者役職氏名 代表取締役社長 荻野 剛人

株式会社荻野建築企画

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である『みんなにやさしい家づくり』の実践を通じて、「人」「健康」「環境」「ライフスタイル」が調和する理想の家づくりを推進していくことで、住み続けられる街づくりに貢献してまいります。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、従業員一人一人が働きがいを感じ、健康に配慮した経営を行うとともに、誠実に事業活動に取組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減のため、DX化などによるペーパーレス推進や省エネ設備導入などにより、電気使用量の削減に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①コピー用紙使用枚数:35,000枚 ②電気使用量:1,000kWh/月	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 ①30%削減 ②20%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 ①10%削減 ②8%削減
社会	社員のライフスタイルに合わせた柔軟な勤務形態を採用するなど、働き方改革を推進していく。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 有給休暇平均取得日数:5日	＜2030年に向けた指標＞ 15日 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 10日
経済	受注を拡大し地域経済に貢献するため、資格の取得を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 資格保有者 ①1級建築士:1人(1人/6人) ②2級建築士:2人(2人/6人) ③1級建築施工管理技士:2人(2人/6人)	＜2030年に向けた指標＞ ①3人 ②5人 ③5人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2人 ②3人 ③3人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 9月 26日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田615-1

県内企業等の名称 大陽ビニール工業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 西原 忠載

大陽ビニール工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念である【Quality management】に基づき行動し、お客様、パートナー、地域の皆様、従業員とのコミュニケーションを行い、互いの共存・共栄を実現いたします。
社員一人一人がSDGsを認識し、自己啓発を行うことでSDGs達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量削減の為、省エネボイラーへの設備更新を検討する。また工程改善による歩留まり向上により廃プラスチック発生を抑制する。 <(現状値)2022年の数値> ①使用電力量:2,300,000kwh ②廃プラスチック排出量:19t/年間	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①0.5%削減 ②3%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①0.3%削減 ②1%削減
社会	男性の育児休暇取得率の向上を図る。また、社会貢献活動の一環として、子ども食堂への寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①男性の育児休暇取得率:50%(2人/4人) ②子ども食堂へ寄付:5万円	<2030年に向けた指標> ①100% ②30万円 <取組開始3年後に向けた指標> ①75% ②10万円
経済	多様な働き方を推進し、従業員の年次有給休暇取得日数の向上・取得しやすい環境づくりを行う <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:13日	<2030年に向けた指標> 15日 <取組開始3年後に向けた指標> 14日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 28日

住 所 さいたま市北区宮原町3-591-1

県内企業等の名称 株式会社鶴見製作所 大宮営業所

代表者役職氏名 所長 本多 健太郎

株式会社鶴見製作所 大宮営業所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念、「水と人とのやさしいふれあい」では、環境保護への取り組みは欠かすことのできない事項です。また「人にも地球にも心地いい快適工学」の実現を会社目標とし、営業所としてもSDGs活動へ積極的に取り組み、目標達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、社用車を環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①導入割合:25%(1台/4台) ②平均燃費:15.3km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①100%(4台/4台) ②22.0km/ℓ以上 <取組開始3年後に向けた指標> ①75%(3台/4台) ②18.0km/ℓ以上
社会	地域社会への貢献のため、社員参加型の社会貢献活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> 街の美化活動:0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> 4回/年・のべ8人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・のべ6人参加
経済	ワークライフバランスの推進の一環として、従業員の年次休暇平均取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 9月 28日

住 所 埼玉県川口市峯752-30

県内企業等の名称 株式会社オリイエンジ

代表者役職 氏名 代表取締役 折居勇介

株式会社オリイエンジ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は高速道路や一般道の橋梁・高架橋に係る付属物の製作及び設置工事を通じて、地域社会のインフラ整備を行い、地域社会の発展に貢献します。
産業廃棄物を排出しないようリサイクルを適切に行うことで環境に配慮し、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	請求書の電子化や社内の裏紙利用により紙の使用枚数を削減する。また、無駄な鋼材発注を避ける等、産業廃棄物の削減に取り組む。 <(現状値)2022年度の数値> ①コピー用紙使用枚数:15,000枚/年 ②産業廃棄物:鉄8t	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②7%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①3%削減 ②4%削減
社会	地域の治安維持に貢献するため、社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年度の数値> ①防犯活動:0回・のべ0人参加 ②防災活動:0回・のべ0人参加	<2030年に向けた指標> ①2回/年・のべ4人参加 ②1回/年・のべ2人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年・のべ2人参加 ②1回/年・のべ2人参加
経済	従業員のワークライフバランス充実のため年次有給休暇取得率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 蓮田市上平野107-2

県内企業等の名称 星野工業株式会社

代表者役職氏名 代表取締役社長 星野 正男

星野工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営方針である「地域に密着し、環境への影響を最小限に抑え活動を行う」及び「多様な働き方を取り入れ、各社員の健全な生活の支えとなる」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙の使用枚数やエネルギー使用量を削減し、資源の無駄遣いを減らす。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①コピー用紙使用枚数:1,316,000枚/年 ②エネルギー使用量:7,869kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 ①12%削減 ②8%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 ①3%削減 ②3%削減
社会	有給休暇の取得を推進することで、従業員の健康維持やワークライフバランスの改善に寄与し、持続可能な経済成長を支える。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年間平均有給休暇取得日数:5日	＜2030年に向けた指標＞ 12日 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 8日
経済	埼玉県の近隣の事業者を積極的に活用し、地元経済の発展に寄与する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 地域の取引業者数:163社/年	＜2030年に向けた指標＞ 170社/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 166社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 上尾市緑丘2-5-6

県内企業等の名称 株式会社エンメモリアル

代表者役職 氏名 霊園管理責任者 今井 眞枝

株式会社エンメモリアル

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「私たちはお墓の仕事を通して世の中の役に立ち、社会に必要とされ、お客様に喜んでもらえる仕事をする。」という経営理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	顧客情報のデータ化を進め、ペーパーレス化することで、コピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用枚数:150,702枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 40%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 20%削減
社会	職員参加型の地域美化活動や赤い羽根の募金を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①霊園周辺の美化活動:0回/年 のべ0人参加 ②赤い羽根募金の活動:1,000円(9霊園中1霊園参加)	＜2030年に向けた指標＞ ①24回/年 のべ218人参加 ②18,000円(9霊園参加) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①12回/年 のべ108人参加 ②9,000円(9霊園参加)
経済	ワーク・ライフ・バランスの実現のため、有給休暇の取得を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年間平均有給休暇取得日数:11.73日/年	＜2030年に向けた指標＞ 16日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 13日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 埼玉県八潮市西袋1024-1

県内企業等の名称 株式会社大光

代表者役職 氏名 代表取締役 北出 康寛

株式会社大光

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「早く、安く、確実に施工」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献します。創業以来の精神を見失わず、今後の地球環境を考慮した人と地球に優しい環境の整備をめざす企業として努力していきます。また、責任と自覚をもって皆様方のご期待に応えたいと思います。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から用紙の有効活用や電子化するなどし、コピー用紙の使用枚数の削減に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用枚数:5000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 15%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 7%削減
社会	ワークライフバランス推進のため超過労働時間の削減や有給休暇取得日数の増加に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①超過労働時間:35時間/月 ②有給休暇平均取得日数:6日/年	＜2030年に向けた指標＞ ①20時間/月 ②10日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①30時間/月 ②8日/年
経済	地域の事業者との取引を増やすことで、地域経済の発展や持続性に貢献する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 地域事業者との取引:15社	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 5社増加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 2社増加

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日
住 所 所沢市西所沢2丁目1-12 第2北斗ビル
県 内 企 業 等 の 名 称 株式会社北斗不動産ホールディングス
代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 上田真一

株式会社北斗不動産ホールディングスはSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち北斗不動産グループは、より良い地域を創ることこそが不動産会社の使命と考え、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、社有車に低公害車(環境配慮型車両)を導入する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①低公害車導入台数:8台/11台(72%) ②平均燃費:19.8km/ℓ	＜2030年に向けた指標＞ ①100% ②24.9km/ℓ ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①80% ②22.6km/ℓ
社会	社会貢献活動として地域環境美化運動に努める。また、街づくりを推進する地域活動団体・個人の活動をフリーペーパーにて広報する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①彩の国ロードサポート:4回/年・各回15名 ②発行回数:4回/年・のべ7,000世帯	＜2030年に向けた指標＞ ①4回/年 各回30名参加 ②4回/年・のべ40,000世帯 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①4回/年 各回20名参加 ②4回/年・のべ20,000世帯
経済	従業員の働きがい向上として、年次有給休暇の取得を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 全社員に占める有給を10日以上取得した社員の割合:72%(8名/11名)	＜2030年に向けた指標＞ 90% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 80%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 埼玉県 川口市 戸塚 2-12-20 アズ企画設計ビル2F-A

県内企業等の名称 グリーンテック 株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 江原 邦泰

グリーンテック 株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は造園事業を行いながら地域社会に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資料の印刷枚数の削減や裏紙の利用を通じ、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> コピー用紙使用量:50,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進するため、街の美化活動に取り組む。 <(現状値)2022年度の数値> 美化活動:0回/年・延べ0人	<2030年に向けた指標> 2回/年・延べ4人 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ2人
経済	働きがい向上のため、従業員の年次有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 平均有給休暇取得日数:6日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29 日
住 所 さいたま市桜区田島1-2-1
県内企業等の名称 株式会社 海幸水産
代表者役職氏名 代表取締役 深井 勇哉

株式会社 海幸水産 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の方針である学校給食を始め、多くのお客様に「安心」「安全」の製品を提供し社会に貢献する事は、持続可能な開発目標と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組む事で、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資源循環型社会への貢献として、食品ロスの量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 年間廃棄量:73,272kg	<2030年に向けた指標> 2022年比 15%減 (62,281kg) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%減 (69,608kg)
社会	多様な働き方推進の一環として、男性の育児休暇取得率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 男性育児休暇取得率:0%(対象者はいたが取得できなかった)	<2030年に向けた指標> 20%以上 <取組開始3年後に向けた指標> 10%以上
経済	ジェンダー平等の実現・多様な人材が活躍できる職場づくりのため、女性の正雇用率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 女性正社員雇用率:27%(13人/48人)	<2030年に向けた指標> 34% <取組開始3年後に向けた指標> 30%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 埼玉県本庄市小島四丁目6番7号

県内企業等の名称 タカイチ設備株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 高橋 一哲

タカイチ設備株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「水と空気は宝。管工事業を通して、この宝を守り、安全に供給することで、地域社会に貢献していく。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙の再生紙利用とDX化等によるペーパーレス化を徹底する。 <(現状値)2022年の数値> ①再生紙利用割合:20% ②コピー用紙使用枚数:5,000/年	<2030年に向けた指標> ①100% ②500枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①70% ②1,000枚/年
社会	社会貢献となる寄付(自治会、赤い羽根、子ども食堂等)を継続的に行う。 <(現状値)2022年の数値> ①寄付額の算定割合:0%/年 ※寄付額=前年度の純利益÷① ②寄付回数:0回/年	<2030年に向けた指標> ①1%/年 ②2回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①0.5%/年 ②1回/年
経済	多様な人材が活躍できる社会を実現するため、女性採用を積極的に推進する。 <(現状値)2022年の数値> 女性雇用数:4人/11人	<2030年に向けた指標> 9人/20人 <取組開始3年後に向けた指標> 6人/15人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣言日 令和 5年 9月 29 日
住所 所沢市西所沢1-12-4 北斗西所沢駅前ビル5F
県内企業等の名称 株式会社北斗ハウジング
代表者役職 氏名 代表取締役 上田真一

株式会社北斗ハウジング はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち北斗不動産グループは、より良い地域を創ることこそが不動産会社の使命と考え、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	継続的に安全なエネルギー利用のため、事務所で消費電力を抑える活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 年間平均電気使用料:1,200kwh/年(1人当たり)	<2030年に向けた指標> 912kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> 1,092kwh/年
社会	彩の国ロードサポート制度を通じた地域環境美化運動に努める。 <(現状値)2022年の数値> 美化運動実施:4回/年・各回15名	<2030年に向けた指標> 4回/年・各回30名 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年・各回20名
経済	従業員の働きがい向上として、年次有給休暇の取得を推進する。また、空家を放置しないようにするために、啓蒙活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①全社員に占める有給を10日以上取得した社員の割合:66%(4名/6名) ②空き家・相続セミナー:1回/年	<2030年に向けた指標> ①90% ②12回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①80% ②4回/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9 月 29 日

住 所 川口市本蓮4丁目5番10号

県内企業等の名称 株式会社FUJI

代表者役職 氏名 代表取締役 佐藤幸一

株式会社FUJI

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

企業は循環型社会の構築にどう関わっていくかが問われています。このような認識の下、当社は「人間尊重」を原点とし、地球温暖化をはじめとする環境問題への対応に取り組みます。産廃業者として3Rのご提案と、廃棄物のリサイクル率を高め効率性を追及し、限りある資源の確保に努めます。事業を通して地域社会に貢献し、事業の実践を通して私たち一人ひとりが社会で信頼され、尊重される人間に成長し、循環型社会の構築にたゆまぬ努力を続け、SDGsの達成を目指してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車を環境配慮型車両にする。また、事務所における緑化率を上げる。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両:2台/8台 ②平均燃費:10.5km/ℓ ③事務所における緑化率:15% (100㎡/660㎡)	<2030年に向けた指標> ①5台 ②14.5km/ℓ ③45% <取組開始3年後に向けた指標> ①3台 ②12.5km/ℓ ③33%
社会	社会貢献活動として、地域組合の清掃活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 清掃活動実施:12回/年・のべ60人	<2030年に向けた指標> 48回/年・のべ240人 <取組開始3年後に向けた指標> 24回/年・のべ120人
経済	高齢者及び外国人労働者の積極的な雇用を進めて、多様な人材が活躍できる職場づくりを目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①高齢者(65才以上)の雇用人数:3人/32人 ②外国人労働者の雇用人数:2人/32人	<2030年に向けた指標> ①12人 ②10人 <取組開始3年後に向けた指標> ①8人 ②5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 30日

住 所 さいたま市大宮区大成町3-498-17 サンパレー大成201

県 内 企 業 等 の 名 称 アドマイヤー株式会社ゆたかに事業部

代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 曾根原 直樹

アドマイヤー株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、経営理念である「全てのお客様にリーズナブルなお別れを提供」をモットーとし、葬儀の分野において使命感を持ち、事業活動に邁進いたします。我々の存在意義は、家族や友人が最後の別れを迎えるときに、心からの支援と安心感を提供することです。この信念は、持続可能な開発目標(SDGs)と共鳴し、社員一人一人が誠実に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していくことを誓います。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	葬儀の施行において、エアコンや家電の使用を最小限に抑え、LED照明の使用を促進してエネルギー使用量を削減する。また、DX化等によりコピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:8,516kwh/年 ②コピー用紙使用量:5,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①5%削減 ②20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①3%削減 ②10%削減
社会	社員参加型の地域の社会貢献活動(ゴミ拾い等)を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 近隣エリアの美化活動:0回/年	<2030年に向けた指標> 4回/年・延べ20名 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ2名
経済	社員が働きやすい環境を整えるため、年間休日の増加を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 平均年間休日数:108日/年	<2030年に向けた指標> 118日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 112日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日
住 所 埼玉県川口市江戸1丁目9-34
県内企業等の名称 有限会社ステラモータース
代表者役職氏名 取締役 山本裕保

有限会社ステラモータース はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「磨き上げた技術と豊富な知識を持ち100年続く企業経営により顧客の車がある生活を守る」に基づき行動し、顧客の安全ひいては地域社会の安全、発展に貢献する。社員ひとりひとりが真摯に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、社用車を環境配慮型車両に変更する。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両割合:20%(2台/10台) ②平均燃費:9.4km/ℓ	<2030年に向けた指標> ①80%(8台/10台) ②13.6km/ℓ <取組開始3年後に向けた指標> ①50%(5台/10台) ②11.5km/ℓ
社会	社会貢献活動として、赤い羽根への募金額を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 赤い羽根募金額:1万円/年	<2030年に向けた指標> 10万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5万円/年
経済	ワークライフバランス推進の一環として、年次有給休暇取得日数を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日

住 所 富士見市大字下南畑2343番地3

県内企業等の名称 株式会社富士実業

代表者役職 氏名 代表取締役 石橋 美佐

株式会社富士実業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業当時から「人と人との和」を尊重しながら、仕事を通じて社会に貢献することを目標に邁進してきた。地域社会との結びつきを大事に、地域の発展と環境づくりに貢献できる存在となれるよう、社員一人一人が誠実に地域社会の環境改善・社会活動・経済向上に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙の使用枚数:70,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	地域社会貢献活動の推進として、川の国応援団の再生活動に参加する。 <(現状値)2022年の数値> 川の国応援団活動:0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> 2回/年・のべ16人 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・のべ7人
経済	多様な働き方の推進をするため、年間休日の増加を目指す。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日:105日/年	<2030年に向けた指標> 125日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 115日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日
住 所 埼玉県深谷市小前田620-1
県内企業等の名称 株式会社沼尻電気工事
代表者役職氏名 代表取締役 沼尻 裕之

株式会社沼尻電気工事

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「技術を向上させ社会に貢献」「生活向上の為の利益追求」「人間的価値の追求」という経営理念のもと、豊かな地域社会の発展に取り組んでいきます。この考え方にに基づき、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために、社員一人一人が真摯に向き合って事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化推進により、コピー用紙使用枚数を削減する。また、社用車を環境配慮型車両にする。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:204,865枚 ②環境配慮型車両の導入割合:28%(12台/42台) ③平均燃費17.5km/l	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②50% ③25km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②35.7% ③20km/l
社会	社員参加型の地域美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 彩の国ロードサポート活動:11回/年・のべ102人参加	<2030年に向けた指標> 14回/年・のべ130人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 12回/年・のべ115人参加
経済	地域活性化のため、地域事業者との取引を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 新規外注先:2社/年	<2030年に向けた指標> 4社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日

住 所 坂戸市千代田5-1-16

県内企業等の名称 日本コントロール工業株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 中村 寛

日本コントロール工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「常に価値の創造に挑戦し成長を続ける魅力的な企業となろう」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、従業員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社内書類の電子化を進めていき、コピー紙使用量の削減を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:146,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年度比 30%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年度比 20%削減
社会	社員に対して献血の協力を仰ぎ、医療に対する社会貢献を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 献血協力者:10名/年	＜2030年に向けた指標＞ 15名/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 13名/年
経済	働きがいのある労働環境を整備するために、有給休暇の取得率日数を増加させる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均有給休暇の取得日数:13日/年	＜2030年に向けた指標＞ 18日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 15日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日

住 所 さいたま市大宮区桜木町1-378 4F-01

県内企業等の名称 BIRD税理士事務所

代表者役職氏名 代表税理士 葛西健吾

BIRD税理士事務所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

職員一人ひとりが持続可能な開発目標(SDGs)とはなにかに関心を持ち、地域社会の発展に貢献する。達成のためになにが出来るを考え、話し合いそして行動に移すことによってSDGsの実現に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化により業務で利用する紙媒体を削減する。 ＜(現状値)2023年の数値＞ コピー用紙使用枚数:500枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 85%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 30%削減
社会	地域への寄付・ボランティア活動に参加する ＜(現状値)2023年の数値＞ ①さいたま市への寄付:0円 ②社員参加型の美化活動実施:0回/年・のべ0人参加	＜2030年に向けた指標＞ ①8万円 ②3回/年 のべ15人参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①3万円 ②2回/年 のべ8人参加
経済	多様な働き方やワークライフバランスの推進に取り組む。 ＜(現状値)2023年の数値＞ ①1週間あたりのリモートワーク:1日 ②年次有休休暇平均取得日数:5日	＜2030年に向けた指標＞ ①3日 ②10日 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2日 ②7日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 2日
住 所 埼玉県久喜市八甫109-3
県内企業等の名称 株式会社あおそら工房
代表者役職 氏名 代表取締役 想田 将登

株式会社あおそら工房 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「地域に根付いた地元密着型の企業として地域のまちづくりに貢献する」という指針に基づき行動し、地域社会の発展に貢献していきます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動の中で、紙使用量の削減を推進していく。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用枚数:5,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 15%削減(4,250枚) <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減(4,750枚)
社会	地域の方々が快適に住める街づくりのため、美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施回数:0回/年・のべ0人参加	<2030年に向けた指標> 美化活動実施回数:48回/年・のべ48人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 美化活動実施回数:12回/年・のべ12人参加
経済	高品質で強靱性(レジリエンス性)の高いリフォームサービスにより、新規取引先の増加に努め、地域の経済発展に貢献して参ります。 <(現状値)2022年の数値> 新規取引先件数:3件/年	<2030年に向けた指標> 15件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月3日

住 所 埼玉県川口市弥平3-15-6

県内企業等の名称 株式会社肉の二九八

代表者役職 氏名 代表取締役 橋本 大

株式会社肉の二九八 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「安心安全な食肉を提供していくことを通じ、人々の豊かな生活に貢献していく」という理念のもと、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	食肉の廃棄ロス削減に注力する。 <(現状値)2022年の数値> 食肉廃棄量:54,750kg/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	地域の子どもたちの健康実現のため、社会福祉協議会へ食材の寄付を行っていく。 <(現状値)2022年の数値> 食肉の寄付:100kg・12回/年	<2030年に向けた指標> 120kg・16回/年 <取組開始3年後に向けた指標> 110kg・14回/年
経済	地域活性化のため、埼玉県内事業者との取引数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 取引先数:56社/年	<2030年に向けた指標> 90社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 70社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 3日

住 所 朝霞市田島2-14-1-101

県内企業等の名称 株式会社ケーワン

代表者役職 氏名 代表 星久保堅一

株式会社ケーワン

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人の為になる仕事をする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化等によりコピー用紙の使用量を削減する。また、省エネ設備導入によりエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> ①コピー用紙使用量:36,000枚/年 ②エネルギー使用量:9000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①66%削減 ②10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②5%削減
社会	地域貢献活動として、事業所周辺の環境美化活動を行う。 <(現状値)2022年度の数値> 周辺美化活動:2回/年・のべ10人	<2030年に向けた指標> 6回/年・のべ20人 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年・のべ14人
経済	多様な働き方の推進として、年次有給休暇日数の増加を図る。 <(現状値)2022年度の数値> 年次有給休暇平均取得日数:9日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 11日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月3日

住 所 埼玉県さいたま市北区吉野町2-207-9

県内企業等の名称 有限会社盛香園

代表者役職 氏名 代表取締役 高井 喜代松

有限会社盛香園

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は信頼できるものが集い、信頼できる企業を目指していくことで地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化を推進し、紙資源や印刷資源の削減に努めていく。 <(現状値)2022年度の数値> コピー用紙使用枚数:15,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 20%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 10%削減
社会	地域貢献活動として、周辺地域の美化活動や地元のお祭り等への積極的な参加を行う。 <(現状値)2022年度の数値> ①美化活動実施:1回/年・延べ2人 ②地元催事への参加:1回/年・延べ2人	<2030年に向けた指標> ①3回/年・延べ8人 ②3回/年・延べ8人 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年・延べ4人 ②2回/年・延べ4人
経済	従業員の年次有給休暇取得日数を向上させる。 <(現状値)2022年度の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 3日

住 所 埼玉県さいたま市見沼区深作5-93-1

県内企業等の名称 有限会社武幸商事

代表者役職 氏名 代表取締役 武内 宣樹

有限会社武幸商事 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は信頼できるものが集い、信頼できる企業を目指していくことで地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、節電機器の導入により電気使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 電気使用量:3,600kWh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動として周辺美化活動を推進する。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 周辺美化活動:0回/年・延べ0人	＜2030年に向けた指標＞ 2回/年・延べ4人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 1回/年・延べ2人
経済	従業員の年次有給休暇取得日数を増加させる。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 年次有給休暇平均取得日数:15日/年	＜2030年に向けた指標＞ 22日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 20日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 3日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区大字鹿室1140-1

県内企業等の名称 株式会社信栄興業

代表者役職 氏名 代表取締役 関田 信一

株式会社信栄興業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「確かな実績でお客様に信頼していただく施工を行います。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	太陽光発電システムなどの設置により、再生エネルギー利用率を増やしエネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①再生エネルギー利用率:0% ②エネルギー使用量:22,000kwh/年	<2030年に向けた指標> ①30% ②2022年比 30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①10% ②2022年比 10%削減
社会	誰もが活躍できる職場作りの一環として、女性雇用率を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 女性雇用人数:2人/20人	<2030年に向けた指標> 8人/40人 <取組開始3年後に向けた指標> 3人/20人
経済	地域経済活性化のため、地域の事業者との取引を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 地域事業者との取引数:50社(累計)	<2030年に向けた指標> 2022年比 6社増加 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3社増加

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 3日
住 所 越谷市恩間新田370-1
県内企業等の名称 株式会社メディカルスペース
代表者役職 氏名 代表取締役 長谷川 博彦

株式会社メディカルスペース はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「より良き医療空間(病院)の確立をサポートいたします」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のためDX化などにより、ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の削減に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:60,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 5%削減
社会	各従業員が日々の生産性向上を意識して働ける環境を整備し、年次有給休暇取得日数の増加を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均有給休暇取得日数:6日/年	＜2030年に向けた指標＞ 12日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 8日/年
経済	事業の積極的展開や新規開業支援により、地域産業の活性化と雇用創出に貢献する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 新規開業案件:3件/年	＜2030年に向けた指標＞ 15件/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 5件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 3日
住 所 蕨市北町1-24-11
県 内 企 業 等 の 名 称 パティスリーミチ合同会社
代 表 者 役 職 氏 名 代表社員 谷田部道子

パティスリーミチ合同会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、国産の材料の積極的な使用、自宅でのお菓子作りの推進、食ロスの削減・プラスチックゴミ削減に取り組む等の活動を通じて、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	食ロス問題の各種取組を通じて、材料の廃棄率削減を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①材料の廃棄率:10%未満 ②プラスチック使用量:6kg/年	＜2030年に向けた指標＞ ①3%未満 ②2022年比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①5%未満 ②2022年比 5%削減
社会	「蕨マルシェ」という団体で市内周遊型イベントを開催し、市内の商店を利用してもらう取組を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ イベント実施:年3回・来場300名	＜2030年に向けた指標＞ 年3回・来場1,000名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 年3回・来場600名
経済	家庭でのお菓子作りを推奨することによって、女性の人生の楽しみを提供するとともに、雇用したスタッフの独立を応援し、スタッフのスキル向上や多様な働き方を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①お菓子づくり生徒数:250名 ②スタッフの独立:累計2名	＜2030年に向けた指標＞ ①350名 ②累計5名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①280名 ②累計3名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月4日
住 所 北足立郡伊奈町大針320
県内企業等の名称 株式会社東栄
代表者役職氏名 代表取締役 東健太

株式会社東栄 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は品質・環境方針の基本理念である「お客様に真心を込めて高品質な製品を提供します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	節電により、電気エネルギーの使用量を削減する。また、DX化等により、コピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:21,190kwh/年 ②コピー用紙使用量:200,670枚/年	<2030年に向けた指標> ①2022年比 15%削減 ②2022年比 15%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 5%削減 ②2022年比 5%削減
社会	社会貢献活動として、河川・道路美化活動へ参加する。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動:4回/年・延べ49人	<2030年に向けた指標> 4回/年・延べ80人 <取組開始3年後に向けた指標> 4回/年・延べ60人
経済	女性の従業員数、女性管理職登用数を増加させ、多様な人材が活躍できる職場を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数:11人/38人 ②女性管理職数:0人/10人	<2030年に向けた指標> ①18人 ②3人 <取組開始3年後に向けた指標> ①12人 ②1人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年10月3日

住 所 埼玉県春日部市豊野町2-32-16

県内企業等の名称 株式会社渡辺建鉄工業

代表者役職 氏名 代表取締役 渡辺 充

株式会社渡辺建鉄工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様に満足される品質を全員参加で築こう」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	省エネ設備に更新することにより、エネルギー使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> エネルギー使用量:18,000kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 地域清掃活動:1回/年・延べ2名参加	<2030年に向けた指標> 1回/年・延べ7名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ4名参加
経済	女性社員の雇用を増加させ、ジェンダーフリーを進める。 <(現状値)2022年の数値> 女性社員数:1名/9名	<2030年に向けた指標> 4名/13名 <取組開始3年後に向けた指標> 2名/11名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 4日

住 所 桶川市下日出谷8番地4

県内企業等の名称 浅見工業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 浅見 勲

浅見工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である「地域社会への貢献を第一に考え、誠実な施工を実施すること」に基づき行動し、地域社会の発展に取り組めます。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	文書の電子保存を増やし、事務所内で使用するコピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用枚数:23,430枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 約10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 約5%削減
社会	彩の国ロードサポート制度に参加し、地域の清掃美化運動に取り組んでいる。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 実施回数:4回/年(のべ20人)	＜2030年に向けた指標＞ 5回/年(のべ30人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 5回/年(のべ25人)
経済	男女共に安心して働ける環境を整えるためテレワークを推進し、持続可能な経済成長を促す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ テレワーク率:3%(1人/30人)	＜2030年に向けた指標＞ 17%(5人/30人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 7%(2人/30人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 4日

住 所 秩父郡小鹿野町両神薄2306番地

県内企業等の名称 株式会社岩田組

代表者役職 氏名 代表取締役 岩田 勇二

株式会社岩田組

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の企業理念、『50年後も、地域・社会の顧客に愛され、指名される会社であること』、『人に優しい地域づくり』をモットーに顧客のニーズと期待に応じる製品を提供し、顧客の満足度を図る』という考えに基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化の推進や社内印刷物の裏紙使用により、コピー用紙の使用枚数を削減する。また、コンクリート殻を再生砕石として循環利用する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:40,000枚/年 ②再生砕石:1,555t/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①8%削減 ②10%増加 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①3%削減 ②5%増加
社会	社会貢献活動として、ロードサポート活動を継続する。 <(現状値)2022年の数値> ロードサポート活動:1回/年・延べ5名参加	<2030年に向けた指標> 2回/年・延べ16名参加 <取組開始3年後に向けた指標> 2回/年・延べ10名参加
経済	ワークライフバランス向上のため、従業員が有給休暇を取得しやすい職場環境を作る。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:8.09日/年	<2030年に向けた指標> 11日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 9日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 4日

住 所 川口市道合262-1

県内企業等の名称 日本躯体処理株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 平松賢士

日本躯体処理株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

経営理念である「環境に優しいコンクリート構造物の長寿命化を図る材料の普及」から、国民の安全安心を担う公共コンクリート構造物の長寿命化を目指す。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが主体的に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	地球温暖化抑止の観点から、エネルギー使用量の削減を目指す。また、ITデバイスによりペーパーレス化を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:20,000kwh/年 ②コピー用紙使用量:100,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②15%削減
社会	全社員のエンゲージメントを向上させるため、人員の増員、適切な人材配置により、残業等の超過労働時間の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 平均超過労働時間:20時間/月	<2030年に向けた指標> 9時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 15時間/月
経済	インフラ整備(コンクリート長寿命化)に関する取り組みとしてRCガーデックス(コンクリート改質材)の使用を増やすことに取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 埼玉県での使用:30件/年	<2030年に向けた指標> 100件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 60件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日
住 所 埼玉県八潮市大曽根1240
県内企業等の名称 株式会社オーエープラザ
代表者役職氏名 代表取締役CEO 王 含宗

株式会社オーエープラザ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は2003年設立以来、人に使われる為に作られた物が、今度は人に手によって捨てられる。そういう世の中を変えたいという理念でオーエープラザをスタートさせました。そして「限りある資源を大切に」という言葉に基づき考え行動し、今までに50万台以上のリユースパソコンを販売して参りました。これからもオーエープラザは、限りある資源を大切に、リユースパソコンを通してSDGsの達成に向けて貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、パソコンのリユース販売において、CO2排出量及び緩衝材の削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①CO2排出量:約2,870t ②緩衝材使用量:約375Kg	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①30%削減 ②30%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①20%削減 ②20%削減
社会	ワークライフバランス向上のため、有給休暇平均取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:8日/年	<2030年に向けた指標> 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	地域活性化、地域貢献のため、市及び地元企業の様々な事業にパソコンを通じた取引数の増加を図る <(現状値)2022年の数値> 市及び地元企業との取引数:4社/年	<2030年に向けた指標> 30社/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10社/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日
住 所 さいたま市北区日進町一丁目374番地
県内企業等の名称 有限会社 旭塗装工芸社
代表者役職 氏名 代表取締役 竹ノ谷純宏

有限会社 旭塗装工芸社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「塗装でくらしに彩りを」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社用車を環境配慮型車両に切り替え、CO2排出量を削減していく。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両:2台/8台 ②平均燃費:11.2km/L	<2030年に向けた指標> ①8台/8台 ②20.0km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①4台/8台 ②15.6km/L
社会	社会貢献活動として、自社2階フリースペースの無償貸出を行う。また寄付活動を積極的に行う。 <(現状値)2022年の数値> ①フリースペース貸出:2回/週 ②緑のトラスト基金:10,000円/年 ③日本盲導犬協会:15,000円/年	<2030年に向けた指標> ①4回/週 ②20,000円/年 ③25,000円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①3回/週 ②15,000円/年 ③20,000円/年
経済	多様な人材が活躍できる職場づくりとして、女性、若年層の雇用を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員:2名/14名 ②30歳以下の若年層:3名/14名	<2030年に向けた指標> ①6名 ②5名 <取組開始3年後に向けた指標> ①3名 ②4名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 10 月 5 日
住 所 鴻巣市広田道路3524-28
県内企業等の名称 株式会社 日建
代表者役職 氏名 代表取締役 小川 智右

株式会社 日建 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「誠実な経営活動を通じて、顧客、地域社会そして従業員の家族からより信頼される企業創りを推進する」という経営理念のもとに行動し、建設会社として、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	埼玉県エコアップ認証制度に準じ、コピー用紙削減や環境配慮型車両導入などの取組を行い、CO2排出量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ CO2排出量:46.6t/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 5%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 2%削減
社会	彩の国ロードサポート、川の応援団、鴻巣市赤城公園清掃活動等の全社員参加による継続的な社会貢献活動を実施する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 社会貢献活動:14回/年・のべ93人	＜2030年に向けた指標＞ 16回/年・のべ110人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 15回/年・のべ100人
経済	ワークライフバランス推進の一環として、全社員の年次有給休暇取得日数の増加を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年次有給休暇平均取得日数:7.8日/年	＜2030年に向けた指標＞ 10日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 9日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日

住 所 川口市上青木3-12-18 埼玉県産業技術総合センター内661研究室

県内企業等の名称 ケイワート・サイエンス株式会社

代表者役職氏名 代表取締役 前ノ園 晃

ケイワート・サイエンス株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念の『「自然と環境」「食と健康」「エネルギー」「応用微生物」「各種プロセス」を中心に全く新しいアイデア、未活用の技術、既存技術の横展開などによって、これまでにない新しいことにチャレンジしていきます。』に基づき、日本の主食である、お米文化を尊重し、国産米のもみ殻より抽出される成分を、今以上に社会生活や工業、農業に活かし、SDGsの達成に貢献していくことを宣言致します。また、日本国内の農家様への貢献と、日本国内での農業の推進に貢献する事を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	既存の打ち合わせ・会議のリモート化に取り組み、従業員の移動に伴うCO2排出量を抑える。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年間の会議のリモート実施率:50%(50件/100件)	＜2030年に向けた指標＞ 80%(80件/100件) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 60%(60件/100件)
社会	子育て離職していた女性がストレスなく働ける場を設けていくとともに、人間性と知識、経験のみを鑑み、女性の雇用を行っていく。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 女性雇用率:0%(0人/3人)	＜2030年に向けた指標＞ 33%(3人/9人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 20%(1人/5人)
経済	資源を無駄なく活用するため、米粉から抽出した成分を使用した製品の開発を促進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①化粧品:500本/年 ②農業用肥料:100本/年	＜2030年に向けた指標＞ ①2,000本/年 ②5,000本/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①1,500本/年 ②2,000本/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日

住 所 朝霞市栄町4-5-24

県内企業等の名称 株式会社フナミズ刃型製版

代表者役職氏名 代表取締役社長 木原 一裕

株式会社フナミズ刃型製版

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「・独自のアイデアで新しい価値を創造し、顧客満足度の高いソリューションを社会に提供します。・お客様はもちろん、パートナー企業様や従業員にとっても、いい会社であり続けます。・常に新しい事に正々堂々とチャレンジし続けます。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、紙の使用量とフィルム出力量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:220,281枚 ②フィルム出力量:74本(幅406mm、長さ60m)	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①32%削減 ②100%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①16%削減 ②50%削減
社会	従業員のワークライフバランス向上の一環として、年次休暇取得日率をアップする。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 20日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 16日/年
経済	働き方改革の推進として、従業員の超過労働時間を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 平均超過労働時間:15時間/月	<2030年に向けた指標> 1時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 7.5時間/月

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 10月 5日
住 所 川口市西川口1-29-3
ライオンマンション第11-1017
県内企業等の名称 翔美建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 熊谷美津子

翔美建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「環境に配慮した工事施工、品質向上による顧客満足の達成に向けた企業活動」に基づき行動し、循環型社会の構築及び地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、事業所における緑化率をUPする。 <(現状値)2022年の数値> 緑化率:0%(0㎡/50㎡) (現在、本社新築工事中につき提携会社内で業務を行っている。2023年12月完成予定)	<2030年に向けた指標> 20% <取組開始3年後に向けた指標> 10%
社会	「川の国応援団」「彩の国ロードサポート」等の社員参加型の社会貢献活動を推進する。 また、地域機関への支援・協力を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①清掃活動:50回/年・延べ約250人 ②町会・学校等への協力:年間延べ15人 ③地元商工会・催事等への支援:4回/年	<2030年に向けた指標> ①80回/年・延べ400人 ②年間延べ30人 ③10回/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①60回/年・延べ300人 ②年間延べ20人 ③6回/年
経済	地域事業者との連携を深める。また、技術的革新を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①地域の事業者との取引:30社 ②ICT機建機導入による効率化:0件	<2030年に向けた指標> ①10社増(40社) ②3件 <取組開始3年後に向けた指標> ①5社増(35社) ②1件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日

住 所 埼玉県深谷市白草台2909-61

県内企業等の名称 ローヤル電機株式会社 熊谷工場

代表者役職 氏名 常務取締役 小沢一也

ローヤル電機株式会社 熊谷工場 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

2030年の「持続可能な開発目標の達成」に向けて、当社の経営理念である「開拓の精神で顧客に奉仕する」のもと、当社が貢献できること、やらなければならないことを選定し、それを具体的に実践する事で次の世代へ引き継いでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資料の作成フローの見直しや電子化により紙の使用枚数削減に取り組む。また産業廃棄物の削減に取り組む。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①用紙使用枚数:728,038枚/年 ②産業廃棄物量:55,000kg	＜2030年に向けた指標＞ ①2022年比 50%削減 ②2022年比 30%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2022年比 20%削減 ②2022年比 10%削減
社会	ボランティアで地域の清掃など社会貢献活動を行う。また業務時間内でも活動を実施できるような体制を整える。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 業務時間外ボランティア活動:月0h 業務時間内ボランティア活動:月0.5h×5人	＜2030年に向けた指標＞ ボランティア活動:月1h×40人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ボランティア活動:月1h×20人
経済	働きやすい職場環境づくりや女性管理職の活躍のため、多様な働き方を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①働き方の見直しにつながる内外研修受講者数:2人(年2回×1人) ②女性管理職:0人/32人(全体の管理職)	＜2030年に向けた指標＞ ①60人(年2回×30人) ②5人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①10人(年2回×5人) ②2人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目1-1 大黒屋オフィスビル4F

県内企業等の名称 株式会社セレスポ さいたま支店

代表者役職氏名 さいたま支店長 滝澤清悟

株式会社セレスポ さいたま支店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

以下、当社のサステナビリティ方針に基づき行動し、SDGsの達成に貢献していきます。
『持続可能な社会の実現が人類共通の最重要課題であることを認識し、すべての企業活動において、社員一人ひとりがステークホルダーとの信頼関係に基づく互恵関係を大切に、責任ある行動を行います。特に業務の中核を成すイベント制作に対しては「ISO20121:イベントにおける持続可能性に関するマネジメントシステム」を順守いたします。社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化し、ポジティブな影響を拡大することで、イベントに関するサステナビリティの分野において、リーダーシップを発揮していくことを確約します』

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化や電力使用量の削減の実施を進める。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用枚数:214,500枚/年 ②使用電力量:23,578kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①25%削減 ②15%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①15%削減 ②10%削減
社会	社会貢献活動の一環として、フードドライブとフードドライブのボランティア活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①フードドライブ実施回数:0回/年 ②ボランティア活動回数:0回/年・0人参加	<2030年に向けた指標> ①5回/年 ②24回/年・48人参加 <取組開始3年後に向けた指標> ①2回/年 ②12回/年・24人参加
経済	イベントサステナビリティ提案件数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> イベントサステナビリティ提案件数:10件/年	<2030年に向けた指標> 50件 <取組開始3年後に向けた指標> 30件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年 10月 5日

住 所 和光市新倉7-14-1

県内企業等の名称 津上精工株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 布施川 秀雄

津上精工株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念の一つである「省資源を推進し、積極的に環境保全の向上に努める」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、環境に配慮した運営・管理により、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	商品の搬送段階で必要な梱包資材をリサイクルして活用し、梱包資材の使用量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 小箱使用数:10,000個/年	<2030年に向けた指標> 6,500個/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8,000個/年
社会	社会貢献の観点から、周辺の美化活動などのボランティア活動へ参加する従業員の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> ボランティア活動の参加者数:延べ3人/年	<2030年に向けた指標> 延べ20人/年 <取組開始3年後に向けた指標> 延べ10人/年
経済	女性雇用人数の増加に努める。 <(現状値)2022年の数値> 女性割合:22%(4人/18人)	<2030年に向けた指標> 36%(8人/22人) <取組開始3年後に向けた指標> 30%(6人/20人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日
住 所 行田市犬塚459
県内企業等の名称 きのこパワー合同会社
代表者役職氏名 代表取締役 西田 信子

きのこパワー合同会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「安心安全な食に関わる物を提供します。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	これまで捨てていた椎茸の廃棄を減らし、加工食品として出す。また、洗えば使えるトレイも廃棄するのではなく、再利用を目指す。 <(現状値)2022年の数値> ①椎茸廃棄量:300kg/年 ②トレイ廃棄個数:1,800個/年	<2030年に向けた指標> ①30kg/年 ②0個/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①200kg/年 ②1,500個/年
社会	社員参加型の社会貢献活動を推進する。(料理教室、再就職支援等)また「セーブ・ザ・チルドレン」の運営を支援する。 <(現状値)2022年の数値> ①男女参画運動への参加:2回/年 ②セーブ・ザ・チルドレンへの寄附:1万円/年	<2030年に向けた指標> ①10回/年 ②10万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5回/年 ②3万円/年
経済	女性の両立支援や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の従業員割合:33%(4人/12人) ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:8%(1人/12人)	<2030年に向けた指標> ①50%(6人/12人) ②33%(4人/12人) <取組開始3年後に向けた指標> ①42%(5人/12人) ②16%(2人/12人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 5日
住 所 埼玉県川口市木曽呂753-6
県内企業等の名称 自分を信じる力
代表者役職氏名 代表 秋田俊弥

自分を信じる力

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念は「人の可能性を開花させることで、顧客に喜ばれる。そういう社会を作る」ことです。この経営理念に基づき、当社では、企業経営者の仕事の理念や信条をホームページ等を通じてストーリーとして伝えることで、経営者とお客様との良好な関係作りを支援していくことを専門としています。その結果、一人ひとりの幸せをつくる取組により、地域社会の課題解決とSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮の観点から、電気使用量の削減及び自動車の使用を少なくするよう努める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①電気使用量:3,500kw/h ②移動に係る自動車使用率:90%(9回/10回)	＜2030年に向けた指標＞ ①2022年比 15%削減 ②75% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2022年比 8%削減 ②85%
社会	子育て中の主婦を積極的に雇用し、女性の生きがいと活躍を支援する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 女性雇用者:2名	＜2030年に向けた指標＞ 女性雇用者:10名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 女性雇用者:4名
経済	顧客企業のストーリー作成支援を実施することにより、地域の課題解決に貢献する企業を増やす。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 顧客企業数:80社	＜2030年に向けた指標＞ 顧客企業数:200社 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 顧客企業数:100社

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日

住 所 さいたま市浦和区常盤6-12-16

県内企業等の名称 有限会社メルク

代表者役職 氏名 代表取締役 安藤 慎

有限会社メルク

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「誰もが健康な毎日を送れるように。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減、及び太陽光パネルの設置により再生可能エネルギーの利用率向上を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①エネルギー使用量:32,400kWh/年 ②再生可能エネルギー利用率:0%	<2030年に向けた指標> ①2022年比 20%削減 ②40% <取組開始3年後に向けた指標> ①2022年比 10%削減 ②20%
社会	社員ひとりひとりが家庭や個人を大切に、心身ともに余裕のある働き方を実践するため、有給休暇取得日数の増加を推進する <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年
経済	ジェネリック医薬品の使用を推進することにより医療費削減へ貢献する。 <(現状値)2022年の数値> ジェネリック医薬品使用率:84%	<2030年に向けた指標> 90% <取組開始3年後に向けた指標> 87%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年10月 6日

住 所 鶴ヶ島市富士見2丁目5-6

県内企業等の名称 株式会社Step y's 鶴ヶ島コンタクトセンター

代表者役職 氏名 センター長 小林 麻衣

株式会社Step y's 鶴ヶ島コンタクトセンター はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「スタッフ全員が今日よりも明日、明日よりも1ヶ月後、1年後、着実に一歩ずつ(step wise)成長し続け、社会貢献すること」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境配慮への観点から、コピー用紙の使用量、電気使用量を削減する <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:240枚/年 ②電気使用量:8,660kWh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①40%削減 ②8%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①30%削減 ②4%削減
社会	地域の子供(中学生)向けに就業体験授業を開催する。また、社員参加型の地域美化活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> ①体験授業:0回/年・のべ0人受入 ②美化活動:0回/年・のべ0人参加	<2030年に向けた指標> ①2回/年・のべ4人 ②2回/年・のべ4人 <取組開始3年後に向けた指標> ①1回/年・のべ2人 ②1回/年・のべ2人
経済	働きがいと経済成長のため、アルバイト社員を正社員登用する。 <(現状値)2022年の数値> アルバイトからの正社員登用率:0%(0人/17人)(正社員数2人)	<2030年に向けた指標> 20%(4人/20人)(正社員数6人) <取組開始3年後に向けた指標> 12%(2人/17人)(正社員数4人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 30日

住 所 埼玉県川口市栄町三丁目2番16号

県内企業等の名称 株式会社ASJ

代表者役職 氏名 代表取締役社長 青木邦哲

株式会社ASJ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、創業以来、埼玉県川口市にて事業を展開し、全国向けクラウドサービスを提供しております。その中で、商工会議所向け検定受付システムの提供等を通じて、地域に根付いたサービスを提供し、地域やお客様に親しまれるパートナーを目指して、「埼玉版SDGs」の達成に貢献いたします。従業員一人ひとりが「地域社会の課題」に対し、積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ コピー用紙の使用枚数:11,500枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年度比 10%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年度比 5%削減
社会	地域貢献活動として、本社及び技術センター周辺の清掃活動を行う。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 清掃活動実施:0回/年(のべ0人)	＜2030年に向けた指標＞ 24回/年(のべ360人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 12回/年(のべ180人)
経済	DX化により、今まで以上の業務効率化を推進することで、年次有給休暇取得日数の増加を図る。 ＜(現状値)2022年度の数値＞ 年次有給休暇平均取得日数:11.6日/年	＜2030年に向けた指標＞ 14日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 12.6日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年10月 6日

住 所 埼玉県行田市大字須加4421番地

県内企業等の名称 大澤建設株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 大澤則雄

大澤建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

大澤建設株式会社は創業当時より、埼玉県公共工事の施工を行い、多くの社会インフラ整備に携わってきました。今後においても、地域の暮らしやよりよい未来の為に、事業所としての活動、従業員各々の行動を通じて持続可能な開発目標(SDGs)の達成に取組み、埼玉県SDGs達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境に配慮した環境保全対応商品を積極的に購入、使用する。また、営業用車両の使用燃料削減を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①環境保全対応商品の使用率:3% ②営業用車両の平均燃費:12.5km/L	<2030年に向けた指標> ①25% ②15.5km/L <取組開始3年後に向けた指標> ①15% ②13.5km/L
社会	地域貢献のため、彩の国ロードサポート活動を継続するとともに川の国応援団の参加を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①彩の国ロードサポートの参加:3回/年(延べ24名参加) ②川の国応援団参加:0回/年	<2030年に向けた指標> ①6回/年(延べ48名参加) ②6回/年(延べ48名参加) <取組開始3年後に向けた指標> ①4回/年(延べ32名参加) ②3回/年(延べ24名参加)
経済	先端技術を積極活用し、建設現場における生産性を向上させていくとともに、技能講習や研修に積極的に参加する。 <(現状値)2022年の数値> ①先端技術の活用率:0% (ICT建機、スマートグラスなど) ②技能講習・研修の参加人数:3人/年	<2030年に向けた指標> ①15% ②6人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5% ②4人/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5 年 10 月 6 日

住 所 埼玉県志木市本町6-21-9

県 内 企 業 等 の 名 称 株式会社エルグッドヒューマー

代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 今田 圭哉

株式会社エルグッドヒューマー

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人と仕事をつないでいく。上機嫌を創っていく。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、使われていないエリアの消灯などにより、エネルギー使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ エネルギー使用量:33,977kWh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 5%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 3%削減
社会	社員参加型の社会貢献活動として、開発途上国のワクチン接種支援につながるペットボトルキャップ・使用済切手を回収しNPO団体へ寄付する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①ペットボトルキャップの寄付:0kg/年 ②使用済切手の寄付:0g/年	＜2030年に向けた指標＞ ①12kg/年 ②1kg/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①10kg/年 ②300g/年
経済	年次有給休暇取得日数を上げ、従業員のワークライフバランスの向上を図る。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 有給休暇平均取得日数:6.16日/年	＜2030年に向けた指標＞ 10日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 7.16日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日

住 所 上尾市小泉9丁目3番地14

県内企業等の名称 株式会社金子設備

代表者役職 氏名 代表取締役 金子光利

株式会社金子設備

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、給排水設備・空気調和設備・道路から宅地内への給水装置及び下水管などライフラインに携わる総合設備業社として、社会から信頼され、お客様にストレスを与えないスピーディーな対応、そして社員及びファミリーが幸福であることをモットーとしてSDGsを推進し、社会の持続的な発展に寄与する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、コピー用紙使用量と会社内の電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙使用量:52,911枚/年 ②電灯電力:5,862kwh/年 ③動力電力:4,327kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①30%削減 ②10%削減 ③10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①10%削減 ②5%削減 ③5%削減
社会	地元の子供たちの健全育成への協力として、スポーツ少年団に寄付をする。また、ワークライフバランス向上のため、社員の年間休日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> ①スポーツ少年団へ寄付:10,000円/年 ②平均年間休日数:100日/年	<2030年に向けた指標> ①10,000円/年 ②115日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①10,000円/年 ②105日/年
経済	工事の品質を高め顧客満足度の向上に取り組んでいく。 <(現状値)2022年の数値> 平均工事成績評定:77点	<2030年に向けた指標> 85点 <取組開始3年後に向けた指標> 80点

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日
住 所 比企郡嵐山町花見台11-2
県内企業等の名称 ワールド工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 吉竹 直行

ワールド工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は主力製品である高速シートシャッターを提供する事で、経営理念である『豊かな社会の実現に貢献』に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。全社員が誠実に事業活動に取り組み、『英知と創造力を結集し世界のお客様に満足いただける価値の提供』を実現する事によりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、スマートメーター導入などにより、電気使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 電気使用量:263,957kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 10%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 5%削減
社会	多様な人材が活躍できる職場作りとして、女性従業員数を増やすと共に女性の役職者登用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> ①女性従業員数割合:21.2%(18人/85人) ②女性役職者割合:22.2%(4人/18人)	<2030年に向けた指標> ①25.5%(23人/90人) ②26%(6人/23人) <取組開始3年後に向けた指標> ①24.7%(21人/85人) ②23.8%(5人/21人)
経済	社会問題の解決に資する新製品を開発する。 <(現状値)2022年の数値> 新製品開発:1件	<2030年に向けた指標> 4件 <取組開始3年後に向けた指標> 2件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日

住 所 埼玉県本庄市小島南4-1-1

県内企業等の名称 沖電気工業株式会社本庄工場

代表者役職 氏名 工場長 海蓋 知志

沖電気工業株式会社本庄工場

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である『『進取の精神』をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。』に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	温暖化防止のため、自社拠点のCO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:7.08万t-CO2/年 ※【参考】2020年の数値:7.75万t-CO2/年	<2030年に向けた指標> 42%削減(2020年比) <取組開始3年後に向けた指標> 21%削減(2020年比)
社会	森林ボランティアとして、新工場建設に使われた木材採取地への植林・環境維持活動を行っている。 <(現状値)2022年の数値> 森林ボランティア:1回/年・延べ17人	<2030年に向けた指標> 1回/年・延べ200人 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ80人
経済	多様な人物が活躍できる職場作りとして、女性の管理職登用を積極的に進める。 <(現状値)2022年の数値> 管理職に占める女性比率:3.9%(53人/1,347人)	<2030年に向けた指標> 5.0%(67人/1,347人) <取組開始3年後に向けた指標> 4.7%(63人/1,347人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月6日

住 所 埼玉県川口市東領家5-16-22

県内企業等の名称 城信機械株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 上杉篤信

城信機械株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

日々技術研磨を行い真心ある対応を行うことで社会のインフラ整備に貢献していく。従業員一丸となって迅速かつ柔軟な事業活動を行っていくことでSDGs達成に取り組んでいく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	省エネ設備の導入と従業員の省エネ意識を高め、既存工場の電力消費量削減を行っていく。 <(現状値)2022年の数値> 電力使用量:445,153kwh/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3%削減
社会	従業員のワークライフバランス向上のため、有給休暇取得日数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> 14日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 12日/年
経済	多様な人材が活躍できる職場作りのため、高齢者(65歳以上)の雇用者数を増加させる。 <(現状値)2022年の数値> 65歳以上の社員割合:8%(2名/25名)	<2030年に向けた指標> 15% <取組開始3年後に向けた指標> 10%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日
住 所 埼玉県川口市芝西2丁目9-17
県内企業等の名称 株式会社幸信ビルサービス
代表者役職氏名 代表取締役 小貫 義光

株式会社幸信ビルサービス はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念「品質・サービスを通して、縁を拡げ、縁あるすべての人々に対する責任を果たす」に基づき、環境
負荷軽減につながる当社独自洗剤を使ったサービスを拡げる取り組みにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	生分解性洗剤の導入・活用により、剥離洗剤・ 強アルカリ・溶剤等多くの有害物質を排出する 作業の現場件数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 有害物質排出現場件数:60現場(全現場)	<2030年に向けた指標> 20現場 <取組開始3年後に向けた指標> 40現場
社会	地域貢献活動の一環として、事業所周辺の美化 活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 美化活動実施:24回/年(のべ48人)	<2030年に向けた指標> 48回/年(のべ96人) <取組開始3年後に向けた指標> 36回/年(のべ72人)
経済	環境配慮型洗剤を使用する新規案件を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 新規案件数:0件/年	<2030年に向けた指標> 10件/年 <取組開始3年後に向けた指標> 5件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10 月 6日
住 所 埼玉県日高市中沢110-3
県内企業等の名称 株式会社 かねこ総業
代表者役職氏名 代表取締役 金子洋

株式会社 かねこ総業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地域に密着した町創り」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、事業所における緑化面積の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 緑化率:20%(80㎡/400㎡)	<2030年に向けた指標> 40% <取組開始3年後に向けた指標> 25%
社会	従業員の働きがい向上のため、時間外労働時間の削減に努める。 <(現状値)2022年の数値> 平均時間外労働時間:30時間/月	<2030年に向けた指標> 10時間/月 <取組開始3年後に向けた指標> 20時間/月
経済	地域経済発展のため、地域産資材を積極的に消費・活用する。 <(現状値)2022年の数値> 地域産資材:10%(10本/100本)	<2030年に向けた指標> 50% <取組開始3年後に向けた指標> 20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日

住 所 和光市本町16-2 猪俣ビル301号

県内企業等の名称 インテグレーションテクノロジー株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 船田浩良

インテグレーションテクノロジー株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「ますます高度化し、複雑となる技術シーズを統合化し、さまざまな課題を解決することにより良い世界をつくる」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	レンズ成形シミュレーションにより、廃棄ロスやエネルギー効率アップに繋げる。 <(現状値)2022年の数値> ①ガラス・金属の廃棄ロス削減率:10%(10kg/(10kg×10型)) ②エネルギー使用量:96,000kwh/年	<2030年に向けた指標> ①40%(40kg/(10kg×10型)) ②2022年比 40%削減 <取組開始3年後に向けた指標> ①20%(20kg/(10kg×10型)) ②2022年比 20%削減
社会	従業員の働きがい向上のため、年次休暇取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:5日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 7日/年
経済	多様な人材が活躍できる職場作りとして、女性技術者の増加に努める。 <(現状値)2022年の数値> 女性従業員割合(正社員):5%(1人/19人)	<2030年に向けた指標> 15% <取組開始3年後に向けた指標> 10%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月6日
住 所 所沢市中富1400-1
県内企業等の名称 小泉運輸株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 小泉 保雄

小泉運輸株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は昭和48年に設立された業歴50周年を迎える物流会社です。「働きやすい職場」、「品質を追及しつづける」をモットーとし、お客様へのより良いサービスの提供に努めている他、様々な社会貢献「自然災害発生時には地域の緊急物資輸送の役割等」を行っております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量の削減のため、トラック全車にデジタルタコグラフを導入し、「エコドライブ」を推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①デジタルタコグラフ導入率:37.5%(30台/80台) ②平均燃費:3.6km/ℓ	＜2030年に向けた指標＞ ①100%(80台/80台) ②4.0km/ℓ ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①80%(64台/80台) ②3.8km/ℓ
社会	より健康的な働き方を実現するため、年次有給休暇取得日数の増加を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 有給休暇平均取得日数:5日/年	＜2030年に向けた指標＞ 10日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 7日/年
経済	誰もが安心して働ける制度や職場環境をつくり、女性管理職を育成する。また健康経営の推進として、健康診断で再検査となった従業員の2次検査受診率の上昇を目指す。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ①女性管理職:1名/12名 ②2次検査受診率:7%(7人/98人)	＜2030年に向けた指標＞ ①3名 ②50%(49人/98人) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①2名 ②30%(20人/98人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日
住 所 さいたま市岩槻区小溝1363
県内企業等の名称 有限会社幸和貿易
代表者役職氏名 代表取締役 渡辺宏正

有限会社幸和貿易 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「分ければ資源」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	DX化等により社内のペーパーレスを推進し、 コピー用紙使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ コピー用紙使用量:100,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 20%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 10%削減
社会	社会貢献活動を促進し、周辺環境の美化に努める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 周辺の環境美化活動:1回/年・のべ10人参加	＜2030年に向けた指標＞ 3回/年・のべ30人以上参加 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2回/年・のべ20人以上参加
経済	多様な人材が活躍できる職場作りを推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 高齢者(65歳以上)雇用人数:2名/13名 外国人労働者雇用人数:7名/13名	＜2030年に向けた指標＞ ①5名 ②10名 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①3名 ②8名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日
住 所 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷2290
県内企業等の名称 杉田電線株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 杉田幸男

杉田電線株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は以下経営理念に基づき行動し、社会・顧客・従業員に貢献する。この考え方はSDGsと同様の目的であり、従業員全員が顧客並びに地域社会の役に立つことにより、SDGsの達成に貢献していく。
①私たちは、企業の社会的責任を果たし、人々の快適で豊かな生活に貢献します。
②私たちは、常にお客様の視点でものごとを考え、安心、安全な製品を世の中に提供します。
③私たちは、第二の家族として、安全で働きやすい職場環境を確保します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、省エネ機器の導入などによりエネルギー使用量を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ エネルギー使用量:120,000kwh/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 30%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 15%削減
社会	業務の生産性を向上させ、従業員がより多くの年次有給休暇を取得できるような環境を整備する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 年次有給休暇平均取得日数:10日/年	＜2030年に向けた指標＞ 15日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 12日/年
経済	シニアも活躍できる就業機会を提供し、多様な人材が活躍できる職場作りを推進する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ シニア(65歳以上)従業員割合:15%(11人/73人)	＜2030年に向けた指標＞ 20% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 17%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月5日

住 所 埼玉県戸田市喜沢二丁目16番地の5

県内企業等の名称 株式会社グローバルファーマシー

代表者役職 氏名 代表取締役 細田 益栄

株式会社グローバルファーマシー はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地域医療に貢献し患者さまに対し質の高い健康を提供する」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	限りある資源の無駄遣いせず有効活用し、紙資源削減に努める。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 用紙使用量:864,000枚/年	＜2030年に向けた指標＞ 2022年比 20%削減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 2022年比 5%削減
社会	ワークライフバランスを大切にし、充実した働き方を実現するため、超過労働時間を削減する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 平均超過労働時間:20時間/月	＜2030年に向けた指標＞ 17時間/月 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 19時間/月
経済	ジェネリック医薬品の普及に努め、医療費削減に貢献する。 ＜(現状値)2022年の数値＞ ジェネリック使用率:85%	＜2030年に向けた指標＞ 使用率92% ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 使用率88%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日
住 所 さいたま市中央区下落合1003
県内企業等の名称 仁科工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 仁科一彦

仁科工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社の経営理念である、「金属表面処理を通じてお客様のニーズ及び信頼にお答えします」を軸に、1956年創業以来、約70年に渡り技術の創意工夫を行い、様々な業種の表面処理を行ってきました。ほとんどの商品には表面処理が施されており、表面処理無く商品は完成しません。商品の完成は人や経済に繋がっていきます。「すべての人を笑顔」にしていけることをテーマに、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	使用エネルギーを灯油からガスに転換することにより、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:1,235.2t/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 52%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 28%削減
社会	事業所周辺の環境美化活動に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 道路美化活動:48回/年・のべ240人参加	<2030年に向けた指標> 48回/年・のべ720人参加 <取組開始3年後に向けた指標> 48回/年・のべ480人参加
経済	多様な人材を登用するため、外国人技能実習生を積極的に雇用する。 <(現状値)2022年の数値> 技能実習生の雇用人数:8人(109人中8人)	<2030年に向けた指標> 10人 <取組開始3年後に向けた指標> 9人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年10月6日

住 所 さいたま市桜区西堀8-12-15

県内企業等の名称 株式会社新研設備工業

代表者役職 氏名 代表取締役 大原喜四郎

株式会社新研設備工業 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

地域社会を支える建設業界に携わる企業として、身近な取組みから環境負荷の軽減、地域社会・経済の発展を目指し、SDGsの達成に向けた取組を行いながら、持続可能な社会を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、ペーパーレス化を推進し、コピー用紙の使用枚数を削減する。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:169,500枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 2%削減
社会	社会貢献活動として、学生のインターンシップを受け入れる。また、ペットボトルキャップを回収し、キャップの貯金箱推進ネットワークに寄付する。 <(現状値)2022年の数値> ①インターンシップ生の受入:2人/年 ②ペットボトルキャップ回収量:0kg/年	<2030年に向けた指標> ①4人/年 ②1.5kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①3人/年 ②1kg/年
経済	サービス向上や事業規模拡大のため資格取得者の増加を図る。 <(現状値)2022年の数値> 管工事施工管理技士1級・2級合格者又は土木工事施工管理技士1級・2級の資格者割合:55%(11人/20人)	<2030年に向けた指標> 70%(14人/20人) <取組開始3年後に向けた指標> 60%(12人/20人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 10月 6日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-123 大栄ツインビル S館 3F

県内企業等の名称 株式会社 A-life 21

代表者役職氏名 代表取締役 齋藤 西史

株式会社 A-life 21

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は地球温暖化防止の推進活動に寄与する事を念頭に、さらなる省エネ機器、再エネ機器の普及を目指し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2削減のため商用車を順次環境配慮型車両に入れ替える。 <(現状値)2022年の数値> ①環境配慮型車両の割合:0%(4台中0台) ②平均燃費:17km/l	<2030年に向けた指標> ①50% ②22km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①25% ②20km/l
社会	ワークライフバランスの実現のため有給休暇取得を促進させる。 <(現状値)2022年の数値> 有給休暇平均取得日数:5日	<2030年に向けた指標> 10日 <取組開始3年後に向けた指標> 7日
経済	地域の事業者との新規取引先数を増加させる <(現状値)2022年の数値> 地域の事業者との新規取引先:3者/年	<2030年に向けた指標> 5者/年 <取組開始3年後に向けた指標> 4者/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年10月6日

住 所 さいたま市南区南浦和3-43-14-201

県内企業等の名称 ヘアーメイクブルーム

代表者役職 氏名 代表 三浦 丈治

ヘアーメイクブルーム

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

感動・喜び・感激を創造するビューティープロデューサーとして、美と健康のお手伝いをさせていただき、地域における「顧客満足度 No.1 美容室」を目指したいという思いを持ち、美容を通じて地域の方たちが豊かな生活を送ることができる手伝いをしていきます。この考えは、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、自らも事業を続けていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、リサイクル可能なパッケージを持つ製品、かつ有害な化学物質を含まない環境配慮型商品のアイテムを導入していく。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 導入アイテム数:0アイテム	＜2030年に向けた指標＞ 8アイテム(累計) ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 3アイテム(累計)
社会	社会貢献活動の一環として、社会福祉協議会・ユニセフなどを通じた寄付活動を行う。 ＜(現状値)2022年の数値＞ 寄付金額:0円/年	＜2030年に向けた指標＞ 5,000円/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 3,000円/年
経済	埼玉県内を主な活動拠点としている取引業者を増加させていく。また、ワークライフバランスの向上として有給休暇平均取得日数を増加する。 ＜(現状値)2022年の数値 ①県内取引先数:2社(者) ②有給休暇平均取得日数:6日/年	＜2030年に向けた指標＞ ①4社(者) ②16日/年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①3社(者) ②10日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 27日
住 所 川口市幸町3-8-7-103
県内企業等の名称 株式会社ユアライズ
代表者役職 氏名 代表取締役 坂田 龍平

株式会社ユアライズ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は優良な住宅の開発を通じ地域社会の発展に貢献する。地域の生活環境向上と地域コミュニティの活性化を推進し、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	裏紙利用・DX化により、コピー用紙の年間使用量を削減する。 <(現状値)2022年度の数値> コピー用紙使用枚数:10,000枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 3%削減
社会	地域貢献活動として、地元の消防団の活動を行う。 <(現状値)2022年の数値> 消防団活動:0日/年・延べ0人	<2030年に向けた指標> 2回/年・延べ4人 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・延べ2人
経済	ワークライフバランスの向上として、従業員の年次有給休暇取得率を向上させる。また、多様な人材が活躍できる職場作りとして、女性の雇用数を増加させる。 <(現状値)2022年度の数値> ①平均有給休暇取得日数:5日/年 ②女性従業員数:2名/6名	<2030年に向けた指標> ①10日/年 ②4名 <取組開始3年後に向けた指標> ①7日/年 ②3名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 9月 29日

住 所 入間郡三芳町竹間沢東2-2

県 内 企 業 等 の 名 称 ロータス・アールヴィ販売株式会社

代 表 者 役 職 氏 名 代表取締役 松本 興太郎

ロータス・アールヴィ販売株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「お客様一人一人が持っている理想をカタチにする」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、DX化等によりペーパーレス化の推進、コピー用紙の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> コピー用紙使用量:4800枚/年	<2030年に向けた指標> 1000枚/年 <取組開始3年後に向けた指標> 3000枚/年
社会	地域活動及びSDGs活動に資する団体(JICA)へ寄付を行う。 <(現状値)2022年の数値> JICAへの寄付:10万円/年	<2030年に向けた指標> 15万円/年 <取組開始3年後に向けた指標> 13万円/年
経済	業務の効率化を推進することにより、従業員の時間外労働時間の削減、有給休暇取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> ①平均所定外労働時間:7時間/月 ②有給休暇平均取得日数:10日/年	<2030年に向けた指標> ①2時間/月 ②18日/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①5時間/月 ②15日/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。